平成 29 年６月５日

薬事・食品衛生審議会
　食品衛生分科会長　村田　勝敬　殿

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会
　農薬・動物用医薬品部会長　穐山　浩

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会
農薬・動物用医薬品部会報告について

　平成 29 年５月８日付け厚生労働省発生食 0508 第２号をもって諮問された、食品衛生法（昭和 22 年法律第 233 号）第 11 条第１項の規定に基づくスピネトラムに係る食品中の農薬の残留基準の設定について、当部会で審議を行った結果を別添のとおり取りまとめたので、これを報告する。

スピネトラム

今般の残留基準の検討については、農薬取締法に基づく適用拡大申請に伴う基準値設定依頼が農林水産省からなされたことに伴い、食品安全委員会において食品健康影響評価がなされたことを踏まえ、農薬・動物用医薬品部会において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

１．概要

（１）品目名：スピネトラム[Spinetoram(ISO)]

（スピネトラムは、スピネトラム-J 及びスピネトラム-L の混合物で、原体中にはそれぞれ 58.1%及び 8.4%以上（2 成分の合計で 83.0%以上）含まれる。）

（２）用　途：殺虫剤

土壌放線菌（*Saccharopolyspora spinosa*）が産生する活性物質（スピノシン）に由来するマクロライド系殺虫剤であり、スピネトラム-J 及びスピネトラム-L の混合物である。シナプス後膜に存在するアセチルコリン受容体とγ－アミノ酪酸（GABA）受容体のイオンチャネルに作用し、神経活動に異常を引き起こすことにより殺虫効果を示すものと考えられている。

（３）化学名及び CAS 番号

<u>スピネトラム-J</u>

(2*R*,3a*R*,5a*R*,5b*S*,9*S*,13*S*,14*R*,16a*S*,16b*R*)-13-{[(2*R*,5*S*,6*R*)-5-(Dimethylamino)-6-methyltetrahydro-2*H*-pyran-2-yl]oxy}-2-{[(2*R*,3*R*,4*R*,5*S*,6*S*)-4-ethoxy-3,5-dimethoxy-6-methyltetrahydro-2*H*-pyran-2-yl]oxy}-9-ethyl-14-methyl-2,3,3a,4,5,5a,5b,6,9,10,11,12,13,14,16a,16b-hexadecahydro-1*H*-*as*-indaceno[3,2-*d*][1]oxacyclododecine-7,15-dione（IUPAC）

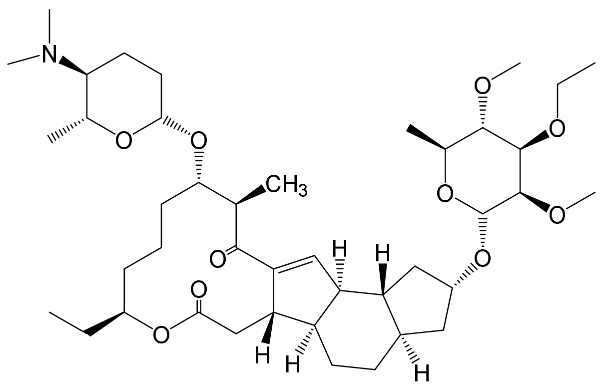
1*H*-*as*-Indaceno[3,2-*d*]oxacyclododecin-7,15-dione, 2-[(6-deoxy-3-*O*-ethyl-2,4-di-*O*-methyl-α-L-mannopyranosyl)oxy]-13-[[(2*R*,5*S*,6*R*)-5-(dimethylamino)tetrahydro-6-methyl-2*H*-pyran-2-yl]oxy]-9-ethyl-2,3,3a,4,5,5a,5b,6,9,10,11,12,13,14,16a,16b-hexadecahydro-14-methyl-, (2*R*,3a*R*,5a*R*,5b*S*,9*S*,13*S*,14*R*,16a*S*,16b*R*)-（CAS：No. 187166-40-1）

<u>スピネトラム-L</u>

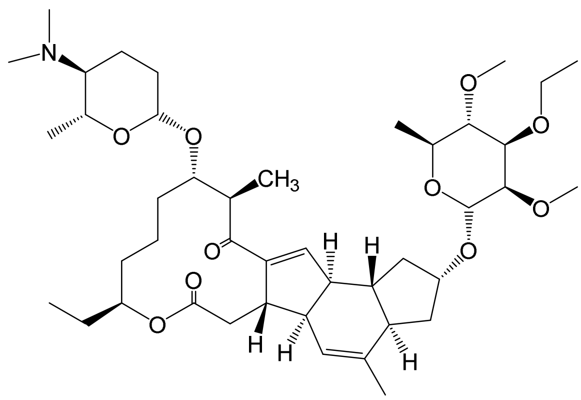
(2*S*,3a*R*,5a*S*,5b*S*,9*S*,13*S*,14*R*,16a*S*,16b*S*)-13-{[(2*R*,5*S*,6*R*)-5-(Dimethylamino)-6-methyltetrahydro-2*H*-pyran-2-yl]oxy}-2-{[(2*R*,3*R*,4*R*,5*S*,6*S*)-4-ethoxy-3,5-dimethoxy-6-methyltetrahydro-2*H*-pyran-2-yl]oxy}-9-ethyl-4,14-dimethyl-2,3, 3a,5a,5b,6,9,10,11,12,13,14,16a,16b-tetradecahydro-1*H*-*as*-indaceno[3,2-*d*][1]oxacyclododecine-7,15-dione（IUPAC）

1*H*-*as*-Indaceno[3,2-*d*]oxacyclododecin-7,15-dione,2-[(6-deoxy-3-*O*-ethyl-2,4-di-*O*-methyl-α-L-mannopyranosyl)oxy]-13-[[(2*R*,5*S*,6*R*)-5-(dimethylamino)tetrahydro-6-methyl-2*H*-pyran-2-yl]oxy]-9-ethyl-2,3,3a,5a,5b,6,9,10,11,12,13,14,16a,16b-tetradecahydro-4,14-dimethyl-,（2*S*,3a*R*,5a*S*,5b*S*,9*S*,13*S*,14*R*,16a*S*,16b*S*)-（CAS：No. 187166-15-0）

（４）構造式及び物性



スピネトラム-J



スピネトラム-L

	スピネトラム-J	スピネトラム-L
分子式	$C_{42}H_{69}NO_{10}$	$C_{43}H_{69}NO_{10}$
分子量	748.00	760.01
水溶解度	10.0 mg/L（20℃）	31.9 mg/L（20℃）
分配係数	$\log_{10}Pow$ = 2.44±0.10（pH 5）	$\log_{10}Pow$ = 2.94±0.05（pH 5）
	$\log_{10}Pow$ = 4.09±0.16（pH 7）	$\log_{10}Pow$ = 4.49±0.09（pH 7）
	$\log_{10}Pow$ = 4.22（pH 9）	$\log_{10}Pow$ = 4.82（pH 9）

２．適用の範囲及び使用方法

本剤の適用の範囲及び使用方法は以下のとおり。

作物名となっているものについては、今回農薬取締法(昭和 23 年法律第 82 号)に基づく適用拡大申請がなされたものを示している。

（１）国内での使用方法

① 25.0%スピネトラム顆粒水和剤

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適用病害虫名</th><th>希釈倍数</th><th>使用量</th><th>使用時期</th><th>本剤の
使用回数</th><th>使用
方法</th><th>ｽﾋﾟﾈﾄﾗﾑを
含む農薬の
総使用回数</th></tr>
<tr><td rowspan="2">りんご</td><td>ｼﾝｸｲﾑｼ類
ﾖﾓｷﾞｴﾀﾞｼｬｸ
ｹﾑｼ類</td><td>5000～
10000倍</td><td rowspan="11">200～700
L/10 a</td><td rowspan="11">収穫前日
まで</td><td rowspan="11">2回以内</td><td rowspan="11">散布</td><td rowspan="11">2回以内</td></tr>
<tr><td>ﾊﾏｷﾑｼ類
ｷﾞﾝﾓﾝﾊﾓｸﾞﾘｶﾞ
ｷﾝﾓﾝﾎｿｶﾞ</td><td>5000～
15000倍</td></tr>
<tr><td rowspan="2">もも
ﾈｸﾀﾘﾝ</td><td>ﾓﾓﾊﾓｸﾞﾘｶﾞ
ｼﾝｸｲﾑｼ類
ﾊﾏｷﾑｼ類</td><td>5000～
10000倍</td></tr>
<tr><td>ｱｻﾞﾐｳﾏ類</td><td>10000倍</td></tr>
<tr><td rowspan="2">おうとう</td><td>ｵｳﾄｳｼｮｳｼﾞｮｳﾊﾞｴ
ﾊﾏｷﾑｼ類</td><td>5000～
10000倍</td></tr>
<tr><td>ｱｻﾞﾐｳﾏ類</td><td>5000倍</td></tr>
<tr><td>なし</td><td>ｼﾝｸｲﾑｼ類
ﾊﾏｷﾑｼ類
ﾁｭｳｺﾞｸﾅｼｷｼﾞﾗﾐ
ｱｻﾞﾐｳﾏ類</td><td>5000～
10000倍</td></tr>
<tr><td>すもも</td><td>ｼﾝｸｲﾑｼ類</td><td>5000倍</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ぶどう</td><td>ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ</td><td>10000倍</td></tr>
<tr><td>ｱｻﾞﾐｳﾏ類
ﾊﾏｷﾑｼ類</td><td rowspan="2">5000～
10000倍</td></tr>
<tr><td>かき</td><td>ｱｻﾞﾐｳﾏ類
ﾊﾏｷﾑｼ類
ｶｷﾉﾍﾀﾑｼｶﾞ</td></tr>
</table>

① 25.0%スピネトラム顆粒水和剤（つづき）

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｽﾋﾟﾈﾄﾗﾑを含む農薬の総使用回数
かんきつ	ﾐｶﾝﾊﾓｸﾞﾘｶﾞ ｱｻﾞﾐｳﾏ類 ｺﾅｼﾞﾗﾐ類 ﾐｶﾝｷｼﾞﾗﾐ ﾖﾓｷﾞｴﾀﾞｼｬｸ ｹﾑｼ類 ﾊﾏｷﾑｼ類	5000～ 10000倍	200～700 L/10 a	収穫前日 まで	2回以内	散布	2回以内
	ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ	10000倍					
くり	ﾓﾓﾉｺﾞﾏﾀﾞﾗﾉﾒｲｶﾞ						
いちじく	ｱｻﾞﾐｳﾏ類	5000倍					
ﾌﾞﾙｰﾍﾞﾘｰ	ｵｳﾄｳｼｮｳｼﾞｮｳﾊﾞｴ ﾊﾏｷﾑｼ類	5000～ 10000倍					
ｱﾛﾆｱ	ｼﾝｸｲﾑｼ類	10000倍					
ﾏﾝｺﾞｰ	ﾁｬﾉｷｲﾛｱｻﾞﾐｳﾏ	5000～ 10000倍					
さんしょう （果実）	ｱｻﾞﾐｳﾏ類						
うめ	ｹﾑｼ類						

② 11.7%スピネトラムフロアブル

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｽﾋﾟﾈﾄﾗﾑを含む農薬の総使用回数
稲	ｲﾈﾂﾄﾑｼ ｺﾌﾞﾉﾒｲｶﾞ ﾌﾀｵﾋﾞｺﾔｶﾞ ﾆｶﾒｲﾁｭｳ	4000～ 6000倍	60～150 L/10 a	収穫７日 前まで	2回以内	散布	3回以内 （移植時までの処理は1回以内、本田での散布は2回以内）
ﾄﾏﾄ ﾐﾆﾄﾏﾄ なす	ｺﾅｼﾞﾗﾐ類	2500倍	100～300 L/10 a	収穫前日 まで			2回以内
	ｱｻﾞﾐｳﾏ類 ﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ類 ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ ｵｵﾀﾊﾞｺｶﾞ	2500～ 5000倍					

② 11.7%スピネトラムフロアブル（つづき）

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｽﾋﾟﾈﾄﾗﾑを含む農薬の総使用回数
ﾋﾟｰﾏﾝ	ｺﾅｼﾞﾗﾐ類	2500倍	100～300 L/10 a	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
	ｱｻﾞﾐｳﾏ類 ｵｵﾀﾊﾞｺｶﾞ ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ	2500～5000倍					
だいこん	ｺﾅｶﾞ ｱｵﾑｼ ﾊｲﾏﾀﾞﾗﾉﾒｲｶﾞ ﾖﾄｳﾑｼ ｳﾜﾊﾞ類 ｶﾌﾞﾗﾊﾊﾞﾁ ﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ類						
はくさい ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ	ｱｻﾞﾐｳﾏ類 ｺﾅｶﾞ ｱｵﾑｼ ﾊｲﾏﾀﾞﾗﾉﾒｲｶﾞ ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ ﾖﾄｳﾑｼ ｳﾜﾊﾞ類 ｵｵﾀﾊﾞｺｶﾞ						

② 11.7%スピネトラムフロアブル（つづき）

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適用
病害虫名</th><th>希釈倍数</th><th>使用液量</th><th>使用
時期</th><th>本剤の
使用回数</th><th>使用
方法</th><th>ｽﾋﾟﾈﾄﾗﾑを
含む農薬の
総使用回数</th></tr>
<tr><td rowspan="2">ｷｬﾍﾞﾂ</td><td>ｺﾅｶﾞ
ｱｵﾑｼ
ｳﾜﾊﾞ類
ﾊｲﾏﾀﾞﾗﾉﾒｲｶﾞ
ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ
ﾖﾄｳﾑｼ
ｱｻﾞﾐｳﾏ類
ｵｵﾀﾊﾞｺｶﾞ</td><td>2500～
5000倍</td><td>100～300
L/10 a</td><td>収穫前
日まで</td><td>2回以内</td><td>散布</td><td rowspan="2">3回以内
(定植時
までの
処理は
1回以内、
散布は
2回以内)</td></tr>
<tr><td>ｱｻﾞﾐｳﾏ類</td><td>50～
200倍</td><td>ｾﾙ成型
育苗ﾄﾚｲ
1箱
又は
ﾍﾟｰﾊﾟｰ
ﾎﾟｯﾄ1冊
(30×60 cm、
使用土壌
約3～4 L)
当たり0.5 L</td><td>育苗期
後半</td><td>1回</td><td>灌注</td></tr>
<tr><td>かぶ
なばな類</td><td>ｺﾅｶﾞ
ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ</td><td rowspan="4">2500～
5000倍</td><td rowspan="5">100～300
L/10 a</td><td rowspan="5">収穫前
日まで</td><td rowspan="5">2回以内</td><td rowspan="5">散布</td><td rowspan="5">2回以内</td></tr>
<tr><td>ｶﾘﾌﾗﾜｰ</td><td>ｺﾅｶﾞ
ｱｻﾞﾐｳﾏ類
ｱｵﾑｼ</td></tr>
<tr><td>非結球あぶら
な科葉菜類
(こまつな、
ﾁﾝｹﾞﾝｻｲ
を除く)</td><td rowspan="2">ｺﾅｶﾞ
ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">こまつな</td></tr>
<tr><td>ｱｻﾞﾐｳﾏ類
ｱｵﾑｼ</td><td>2500倍</td></tr>
</table>

② 11.7%スピネトラムフロアブル（つづき）

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適用
病害虫名</th><th>希釈倍数</th><th>使用液量</th><th>使用
時期</th><th>本剤の
使用回数</th><th>使用
方法</th><th>ｽﾋﾟﾈﾄﾗﾑを
含む農薬の
総使用回数</th></tr>
<tr><td>ﾁﾝｹﾞﾝｻｲ</td><td>ｺﾅｶﾞ
ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ
ﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ類</td><td>2500～
5000倍</td><td rowspan="12">100～300
L/10 a</td><td rowspan="12">収穫前
日
まで</td><td rowspan="12">2回以内</td><td rowspan="12">散布</td><td rowspan="12">2回以内</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ﾒﾛﾝ
きゅうり</td><td>ｺﾅｼﾞﾗﾐ類</td><td>2500倍</td></tr>
<tr><td>ｱｻﾞﾐｳﾏ類
ﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ類</td><td rowspan="7">2500～
5000倍</td></tr>
<tr><td>かぼちゃ</td><td>ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ</td></tr>
<tr><td>たまねぎ</td><td>ｱｻﾞﾐｳﾏ類
ﾈｷﾞﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ
ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ</td></tr>
<tr><td>ねぎ</td><td>ｱｻﾞﾐｳﾏ類
ｼﾛｲﾁﾓｼﾞﾖﾄｳ
ﾈｷﾞﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ
ﾈｷﾞｺｶﾞ</td></tr>
<tr><td>らっきょう
にら</td><td>ｱｻﾞﾐｳﾏ類</td></tr>
<tr><td>ﾚﾀｽ
非結球ﾚﾀｽ</td><td>ﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ類
ｵｵﾀﾊﾞｺｶﾞ
ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">いちご</td><td>ｱｻﾞﾐｳﾏ類
ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ</td></tr>
<tr><td>ｺﾅｼﾞﾗﾐ類
ｸﾛﾊﾞﾈｷﾉｺﾊﾞｴ類</td><td>2500倍</td></tr>
<tr><td>ほうれんそう</td><td>ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ
ｼﾛｵﾋﾞﾉﾒｲｶﾞ
ﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ類</td><td rowspan="2">2500～
5000倍</td></tr>
<tr><td>かんしょ</td><td>ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ</td></tr>
</table>

② 11.7%スピネトラムフロアブル（つづき）

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適用病害虫名</th><th>希釈倍数</th><th>使用液量</th><th>使用時期</th><th>本剤の
使用回数</th><th>使用
方法</th><th>ｽﾋﾟﾈﾄﾗﾑを
含む農薬の
総使用回数</th></tr>
<tr><td rowspan="2">豆類（未成熟）
豆類（種実、
ただし、あずき、
らっかせい
を除く）</td><td>ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ
ﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ類</td><td>2500～
5000倍</td><td rowspan="4">100～300
L/10 a</td><td rowspan="6">収穫前日
まで</td><td rowspan="6">2回以内</td><td rowspan="7">散布</td><td rowspan="6">2回以内</td></tr>
<tr><td>ｱｻﾞﾐｳﾏ類</td><td>5000倍</td></tr>
<tr><td rowspan="2">あずき</td><td>ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ
ﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ類
ｱｽﾞｷﾉﾒｲｶﾞ</td><td>2500～
5000 倍</td></tr>
<tr><td>ｱｻﾞﾐｳﾏ類</td><td>5000 倍</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ｱｽﾊﾟﾗｶﾞｽ</td><td>ｺﾅｼﾞﾗﾐ類</td><td>2500倍</td><td rowspan="2">100～500
L/10 a</td></tr>
<tr><td>ｱｻﾞﾐｳﾏ類
ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ
ｵｵﾀﾊﾞｺｶﾞ</td><td rowspan="2">2500～
5000倍</td></tr>
<tr><td>茶</td><td>ﾁｬﾉｷｲﾛｱｻﾞﾐｳﾏ
ﾁｬﾉｺｶｸﾓﾝﾊﾏｷ
ﾁｬﾉﾎｿｶﾞ
ﾁｬﾊﾏｷ
ﾖﾓｷﾞｴﾀﾞｼｬｸ
ﾁｬﾄｹﾞｺﾅｼﾞﾗﾐ
ﾆﾄﾍﾞﾐﾉｶﾞ</td><td>200～400
L/10 a</td><td>摘採
前日まで</td><td>1回</td><td>1回</td></tr>
</table>

③ 0.50%スピネトラム粒剤

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ｽﾋﾟﾈﾄﾗﾑを 含む農薬の 総使用回数
稲 （箱育苗）	ｺﾌﾞﾉﾒｲｶﾞ	育苗箱 （30×60× 3 cm、 使用土壌 約５ L） １箱当たり 50 g	は種時 （覆土前）～ 移植当日	１回	育苗箱の上 から均一に 散布する	３回以内 （移植時まで の処理は１回 以内、本田で の散布は２回 以内）

④　0.50%スピネトラム・2.0%イソチアニル・1.5%クロチアニジン粒剤

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適用病害虫名</th><th>使用量</th><th>使用時期</th><th>本剤の
使用回数</th><th>使用方法</th><th>ｽﾋﾟﾈﾄﾗﾑを
含む農薬の
総使用回数</th></tr>
<tr><td>稲</td><td>いもち病
ｲﾈﾐｽﾞｿﾞｳﾑｼ
ｲﾈﾄﾞﾛｵｲﾑｼ</td><td>1 kg/10 a</td><td>は種時</td><td rowspan="2">1回</td><td>は種同時
施薬機を
用いて土中
施用する</td><td rowspan="2">3回以内
（移植時
までの処
理は1回以
内、本田で
の散布は2
回以内）</td></tr>
<tr><td>稲
（箱育
苗）</td><td>いもち病
白葉枯病
もみ枯細菌病
穂枯れ（ごま葉枯病
菌）
内穎褐変病
ｳﾝｶ類
ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ
ｲﾈﾂﾄﾑｼ
ﾌﾀｵﾋﾞｺﾔｶﾞ
ﾆｶﾒｲﾁｭｳ
ｺﾌﾞﾉﾒｲｶﾞ
ｲﾈﾋﾒﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ
ｲﾈﾐｽﾞｿﾞｳﾑｼ
ｲﾈﾄﾞﾛｵｲﾑｼ</td><td>育苗箱
(30×60×
3 cm、
使用土壌
約5 L)
1箱当たり
50 g</td><td>移植3日前
～
移植当日</td><td>育苗箱の上
から均一に
散布する</td></tr>
</table>

⑤　0.50%スピネトラム・2.0%イソチアニル・1.5%クロチアニジン・4.0%フラメトピル粒剤

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｽﾋﾟﾈﾄﾗﾑを含む農薬の総使用回数
稲 （箱育苗）	いもち病 紋枯病 白葉枯病 もみ枯細菌病 穂枯れ（ごま葉枯病菌） 内穎褐変病 疑似紋枯症（褐色紋枯病菌） ｳﾝｶ類 ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ ｺﾌﾞﾉﾒｲｶﾞ ﾌﾀｵﾋﾞｺﾔｶﾞ ｲﾈﾐｽﾞｿﾞｳﾑｼ ｲﾈﾄﾞﾛｵｲﾑｼ ｲﾈﾂﾄﾑｼ ﾆｶﾒｲﾁｭｳ ｲﾈﾋﾒﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ	育苗箱 （30×60×3 cm、使用土壌約５ L） １箱当たり 50 g	移植7日前 ～ 移植当日	１回	育苗箱の上から均一に散布する	３回以内 （移植時までの処理は1回以内、本田での散布は2回以内）
	疑似紋枯症（赤色菌核病菌）		移植当日			

⑥　0.50%スピネトラム・1.5%クロチアニジン粒剤

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適用病害虫名</th><th>使用量</th><th>使用時期</th><th>本剤の
使用回数</th><th>使用方法</th><th>ｽﾋﾟﾈﾄﾗﾑを
含む農薬の
総使用回数</th></tr>
<tr><td rowspan="4">稲
（箱育苗）</td><td rowspan="2">ｲﾈﾐｽﾞｿﾞｳﾑｼ
ｲﾈﾄﾞﾛｵｲﾑｼ
ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ
ｲﾈﾂﾄﾑｼ
ﾆｶﾒｲﾁｭｳ
ﾌﾀｵﾋﾞｺﾔｶﾞ
ｲﾈﾋﾒﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ
ｳﾝｶ類
ｺﾌﾞﾉﾒｲｶﾞ</td><td rowspan="4">育苗箱
（30×60×
3 cm、
使用土壌約
5 L）
1箱当たり
50 g</td><td>は種前</td><td rowspan="4">1回</td><td>育苗箱の床土又は覆土に均一に混和する</td><td rowspan="4">3回以内
（移植時までの処理は
1回以内、
本田での散布は2回
以内）</td></tr>
<tr><td>は種時
（覆土
前）～
移植当日</td><td>育苗箱の上から均一に散布する</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ｲﾈｱｻﾞﾐｳﾏ</td><td>は種前</td><td>育苗箱の覆土に均一に混和する</td></tr>
<tr><td>は種時
（覆土
前）～
移植当日</td><td>育苗箱の上から均一に散布する</td></tr>
</table>

⑦　0.50%スピネトラム・2.0%イソチアニル・1.5%クロチアニジン粒剤

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ｽﾋﾟﾈﾄﾗﾑを 含む農薬の 総使用回数
稲	いもち病 ｲﾈﾐｽﾞｿﾞｳﾑｼ	1 kg/10 a	は種時	1回	は種同時施薬機を用いて土中施用する	3回以内 （移植時までの処理は1回以内、本田での散布は2回以内）

⑦　0.50%スピネトラム・2.0%イソチアニル・1.5%クロチアニジン粒剤（つづき）

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適用病害虫名</th><th>使用量</th><th>使用時期</th><th>本剤の
使用回数</th><th>使用方法</th><th>ｽﾋﾟﾈﾄﾗﾑを
含む農薬の
総使用回数</th></tr>
<tr><td rowspan="7">稲
（箱育苗）</td><td rowspan="2">いもち病
白葉枯病
もみ枯細菌病
内穎褐変病
ｳﾝｶ類
ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ
ｲﾈﾐｽﾞｿﾞｳﾑｼ
ｲﾈﾄﾞﾛｵｲﾑｼ
ﾆｶﾒｲﾁｭｳ
ﾌﾀｵﾋﾞｺﾔｶﾞ
ｺﾌﾞﾉﾒｲｶﾞ
穂枯れ（ごま葉枯病菌）</td><td rowspan="7">育苗箱
（30×60×3 cm、使用土壌約５ L）
１箱当たり
50 g</td><td>は種前</td><td rowspan="7">１回</td><td>育苗箱の床土又は覆土に均一に混和する</td><td rowspan="7">３回以内
（移植時までの処理は１回以内、本田での散布は２回以内）</td></tr>
<tr><td>は種時
（覆土前）
～
移植当日</td><td>育苗箱の上から均一に散布する</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ｲﾈﾂﾄﾑｼ</td><td>は種前</td><td>育苗箱の床土又は覆土に均一に混和する</td></tr>
<tr><td rowspan="2">移植3日前～
移植当日</td><td rowspan="2">育苗箱の上から均一に散布する</td></tr>
<tr><td>ｲﾈﾋﾒﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">苗腐敗病（もみ枯細菌病）
苗立枯細菌病</td><td>は種前</td><td>育苗箱の床土又は覆土に均一に混和する</td></tr>
<tr><td>は種時
（覆土前）</td><td>育苗箱の上から均一に散布する</td></tr>
</table>

（２）海外でのスピネトラム使用方法

①　25.0%スピネトラム顆粒水和剤（米国）

<table>
<tr><th colspan="2">作物名</th><th>1回
当たりの
使用量</th><th>栽培
期間中の
総使用量</th><th>使用時期</th><th>使用方法</th><th>本剤の
使用回数</th></tr>
<tr><td colspan="2">りんご</td><td>50～120
g ai/ha</td><td>500
g ai/ha</td><td>収穫7日前
まで</td><td rowspan="8">散布</td><td>4 回以内</td></tr>
<tr><td colspan="2">オレンジ
ｸﾞﾚｰﾌﾟﾌﾙｰﾂ
レモン</td><td>50～110
g ai/ha</td><td>210
g ai/ha</td><td>収穫前日まで</td><td>3 回以内</td></tr>
<tr><td rowspan="3">核果類</td><td>もも
あんず</td><td rowspan="3">50～120
g ai/ha</td><td rowspan="3">490
g ai/ha</td><td>収穫 14 日前まで</td><td rowspan="3">4 回以内</td></tr>
<tr><td>おうとう
すもも</td><td>収穫 7 日前まで</td></tr>
<tr><td>ﾈｸﾀﾘﾝ</td><td rowspan="3">収穫前日まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">ｷｬﾝﾍﾞﾘｰ
(ﾌﾞﾗｯｸﾍﾞﾘｰ及び
ﾗｽﾞﾍﾞﾘｰ等を含む)</td><td>50～110
g ai/ha</td><td>340
g ai/ha</td><td>6 回以内</td></tr>
<tr><td colspan="2">熱帯果実
(ｱﾎﾞｶﾄﾞ、ｸﾞｱﾊﾞ、ﾏﾝｺﾞｰ、
ﾊﾟﾊﾟｲﾔ及び
ﾊﾟｯｼｮﾝﾌﾙｰﾂ等を含む)</td><td>70～120
g ai/ha</td><td>250
g ai/ha</td><td>3 回以内</td></tr>
<tr><td colspan="2">木の実類及びﾋﾟｽﾀﾁｵ
(ｱｰﾓﾝﾄﾞ、くり、ﾍﾟｶﾝ
及びくるみ等を含む)</td><td>30～120
g ai/ha</td><td>490
g ai/ha</td><td>収穫 14 日前まで</td><td>4 回以内</td></tr>
</table>

ai:active ingredient（有効成分）

（３）海外でのスピノサド使用方法

①　80.0%スピノサド顆粒水和剤（米国）

作物名	1回 当たりの 使用量	栽培 期間中の 総使用量	使用時期	使用方法	本剤の 使用回数
あぶらな属野菜 (ﾌﾞﾛｺｯﾘｰ、芽ｷｬﾍﾞﾂ、ｷｬﾍﾞﾂ、 ｶﾘﾌﾗﾜｰ、ﾁﾝｹﾞﾝｻｲ、はくさい、 ｹｰﾙ、みずな及びこまつな等 を含む)	30～170 g ai/ha	500 g ai/ha	収穫前日まで	散布	6 回以内

② 22.8%スピノサドフロアブル（米国）

<table>
<tr><th colspan="2">作物名</th><th>1回
当たりの
使用量</th><th>栽培
期間中の
総使用量</th><th>使用時期</th><th>使用方法</th><th>本剤の
使用回数</th></tr>
<tr><td rowspan="4">根菜、塊茎状野菜
及び
ｱｰﾃｨﾁｮｰｸ</td><td>根菜
（ﾋﾞｰﾂ、てんさい
を除く）</td><td>50～110
g ai/ha</td><td rowspan="4">370
g ai/ha</td><td>収穫 3 日
前まで</td><td>散布</td><td rowspan="4">4 回以内</td></tr>
<tr><td>塊茎状野菜
球茎状野菜</td><td rowspan="5">50～180
g ai/ha</td><td>収穫 7 日
前まで</td><td>散布
ｹﾐｹﾞｰｼｮﾝ
（ばれい
しょ）</td></tr>
<tr><td>ﾋﾞｰﾂ
てんさい</td><td>収穫 3 日
前まで</td><td rowspan="6">散布</td></tr>
<tr><td>ｱｰﾃｨﾁｮｰｸ</td><td>収穫 2 日
前まで</td></tr>
<tr><td rowspan="2">葉菜類、根菜・塊茎
状野菜・ﾏﾒ科野菜
の葉及びｸﾚｿﾝ
（ｾﾛﾘ、ｴﾝﾀﾞｲﾌﾞ、
しゅんぎく、ﾚﾀｽ、
ﾘｰﾌﾚﾀｽ、ﾊﾟｾﾘ及び
ほうれんそう等を
含む）</td><td>葉菜類</td><td rowspan="8">500
g ai/ha</td><td>収穫前日
まで</td><td rowspan="2">—</td></tr>
<tr><td>根菜・塊茎状野菜・
ﾏﾒ科野菜の葉</td><td>収穫 3 日
前まで</td></tr>
<tr><td>うり科野菜
（きゅうり、ﾒﾛﾝ類、
かぼちゃ及びすい
か等を含む）</td><td>きゅうり</td><td rowspan="2">70～140
g ai/ha</td><td>収穫前日
まで</td><td>6 回以内</td></tr>
<tr><td>核果類</td><td>おうとう
すもも</td><td>収穫 7 日
前まで</td><td>—</td></tr>
<tr><td colspan="2">ｸﾗﾝﾍﾞﾘｰ</td><td rowspan="2">70～180
g ai/ha</td><td>収穫 21 日
前まで</td><td>散布
ｹﾐｹﾞｰｼｮﾝ</td><td>6 回以内</td></tr>
<tr><td colspan="2">木の実類及びﾋﾟｽﾀﾁｵ
（ｱｰﾓﾝﾄﾞ、くり、ﾍﾟｶﾝ
及びくるみ等を含む）</td><td>収穫前日
まで</td><td rowspan="3">散布</td><td>3 回以内</td></tr>
<tr><td colspan="2">ﾊﾞﾅﾅ及び料理用ﾊﾞﾅﾅ</td><td>140
g ai/ha</td><td>収穫 56 日
前まで</td><td rowspan="2">6 回以内</td></tr>
<tr><td colspan="2">ﾊﾟｲﾅｯﾌﾟﾙ</td><td>70～110
g ai/ha</td><td>収穫 7 日
前まで</td></tr>
</table>

３．作物残留試験

（１）分析の概要

【国内及び海外】スピネトラムの分析

① 分析対象の化合物

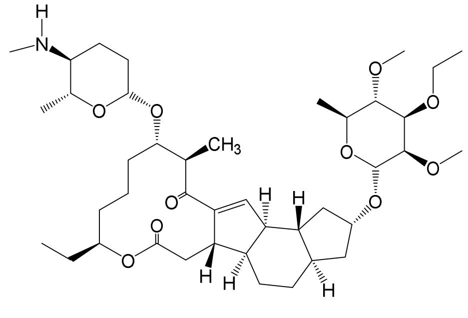
・スピネトラム（スピネトラム-J 及びスピネトラム-L の混合物）

・(2*R*, 3a*R*, 5a*R*, 5b*S*, 9*S*, 13*S*, 14*R*, 16a*S*, 16b*R*)-9-エチル-14-メチル-13-{[(2*S*, 5*S*, 6*R*)-6-メチル-5-(メチルアミノ)テトラヒドロ-2*H*-ピラン-2-イル]オキシ}-7, 15-ジオキソ-2, 3, 3a, 4, 5, 5a, 5b, 6, 7, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16a, 16b-オクタデカヒドロ-1*H*-*as*-インダセン[3, 2-*d*]オキサシクロドデシン-2-イル 6-デオキシ-3-*O*-エチル-2, 4-ジ-*O*-メチル-β-L-マンノピラノシド
（以下、代謝物Bという）

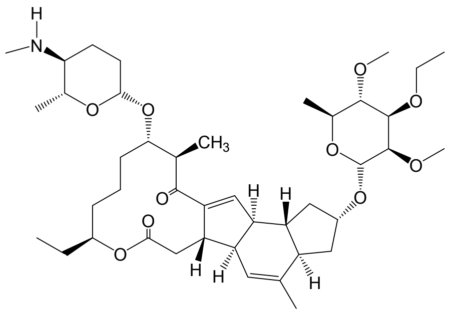
・(2*S*, 3a*R*, 5a*S*, 5b*S*, 9*S*, 13*S*, 14*R*, 16a*S*, 16b*S*)-9-エチル-4, 14-ジメチル-13-{[(2*S*, 5*S*, 6*R*)-6-メチル-5-(メチルアミノ)テトラヒドロ-2*H*-ピラン-2-イル]オキシ}-7, 15-ジオキソ-2, 3, 3a, 5a, 5b, 6, 7, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16a, 16b-ヘキサデカヒドロ-1*H*-*as*-インダセン[3, 2-*d*]オキサシクロドデシン-2-イル 6-デオキシ-3-*O*-エチル-2, 4-ジ-*O*-メチル-β-L-マンノピラノシド
（以下、代謝物Cという）

・(2*R*, 3*S*, 6*S*)-6-({(2*R*, 3a*R*, 5a*R*, 5b*S*, 9*S*, 13*S*, 14*R*, 16a*S*, 16b*R*)-2-[(6-デオキシ-3-*O*-エチル-2, 4-ジ-*O*-メチル-β-L-マンノピラノシル)オキシ]-9-エチル-14-メチル-7, 15-ジオキソ-2, 3, 3a, 4, 5, 5a, 5b, 6, 7, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16a, 16b-オクタデカヒドロ-1*H*-*as*-インダセン[3, 2-*d*]オキサシクロドデシン-13-イル}オキシ)-2-メチルテトラヒドロ-2*H*-ピラン-3-イル(メチル)ホルムアミド
（以下、代謝物Ｄという）

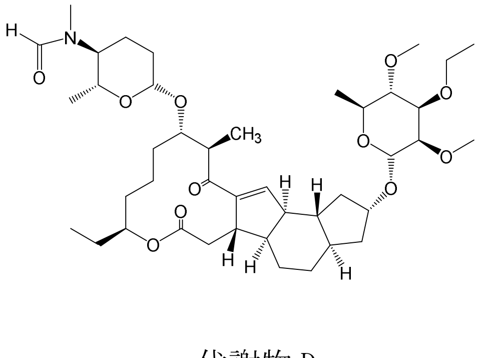
・(2*R*, 3*S*, 6*S*)-6-({(2*S*, 3a*R*, 5a*S*, 5b*S*, 9*S*, 13*S*, 14*R*, 16a*S*, 16b*S*)-2-[(6-デオキシ-3-*O*-エチル-2, 4-ジ-*O*-メチル-β-L-マンノピラノシル)オキシ]-9-エチル-4, 14-ジメチル-7, 15-ジオキソ-2, 3, 3a, 5a, 5b, 6, 7, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16a, 16b-ヘキサデカヒドロ-1*H*-*as*-インダセン[3, 2-*d*]オキサシクロドデシン-13-イル}オキシ)-2-メチルテトラヒドロ-2*H*-ピラン-3-イル(メチル)ホルムアミド
（以下、代謝物Eという）



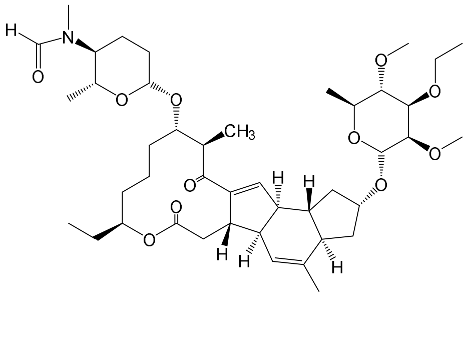
代謝物Ｂ



代謝物Ｃ



代謝物Ｄ



代謝物Ｅ

② 分析法の概要

試料からアセトニトリル・水（4：1）混液又はメタノール・水（4：1）混液で抽出し、HLB カラム及び NH_2 カラム又は逆相-陽イオン交換ミックスモードカラムで精製した後、液体クロマトグラフ・タンデム型質量分析計（LC-MS/MS）で定量する。

または、試料からメタノール・水（4：1）混液で抽出し、酢酸エチルに転溶する。シクロヘキシルシリル化シリカゲル（CH）カラムを用いて精製した後、LC-MS/MS で定量する。

茶の熱湯浸出液については、試料に沸騰水を加え 5 分放置した後、ろ過する。ろ液を HLB カラムで精製した後、LC-MS/MS で定量する。

なお、代謝物 B 及び代謝物 D の分析値については、換算係数 1.02 及び 0.98 を用いてスピネトラム-J に換算し、代謝物 C 及び代謝物 E の分析値については、換算係数 1.02 及び 0.98 を用いてスピネトラム-L に換算する。

定量限界　スピネトラム（スピネトラム-J 及びスピネトラム-L の合量）：0.02 ppm
スピネトラム-J 及びスピネトラム-L：0.003～0.01 ppm
代謝物 B 及び代謝物 C：0.003～0.011 ppm
代謝物 D 及び代謝物 E：0.003～0.010 ppm

【海外】スピノサドの分析

スピノサドはスピネトラムと類似構造をもつマクロライド系殺虫剤である。スピノサドの作物残留試験結果をスピネトラムの作物残留の評価に利用することが適切かを検討するため、比較試験が実施された。比較試験及びスピノサドの作物残留試験に用いられた分析法は以下のとおりである。

① 分析対象の化合物

スピノサドはスピノシンAとスピノシンDの混合物であり、以下の化合物を分析対象化合物とした。

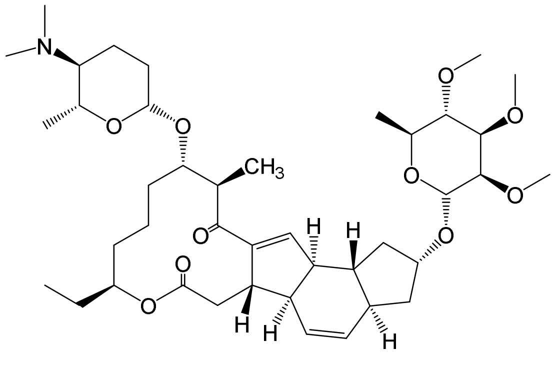
・(2*R*, 3a*S*, 5a*R*, 5b*S*, 9*S*, 13*S*, 14*R*, 16a*S*, 16b*R*)-2-(6-デオキシ-2, 3, 4-トリ-*O*-メチル-α-L-マンノピラノシルオキシ)-13-(4-ジメチルアミノ-2, 3, 4, 6-テトラデオキシ-β-D-エリスロピラノシルオキシ)-9-エチル-2, 3, 3a, 5a, 5b, 6, 7, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16a, 16b-ヘキサデカヒドロ-14-メチル-1*H*-8-オキサシクロドデカ[*b*]*as*-インダセン-7, 15-ジオン（以下、スピノシンAという）

・(2*S*, 3a*R*, 5a*R*, 5b*S*, 9*S*, 13*S*, 14*R*, 16a*S*, 16b*R*)-2-(6-デオキシ-2, 3, 4-トリ-*O*-メチル-α-L-マンノピラノシルオキシ)-13-(4-ジメチルアミノ-2, 3, 4, 6-テトラデオキシ-β-D-エリスロピラノシルオキシ)-9-エチル-2, 3, 3a, 5a, 5b, 6, 7, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16a, 16b-ヘキサデカヒドロ-4, 14-ジメチル-1*H*-8-オキサシクロドデカ[*b*]*as*-インダセン-7, 15-ジオン（以下、スピノシンDという）

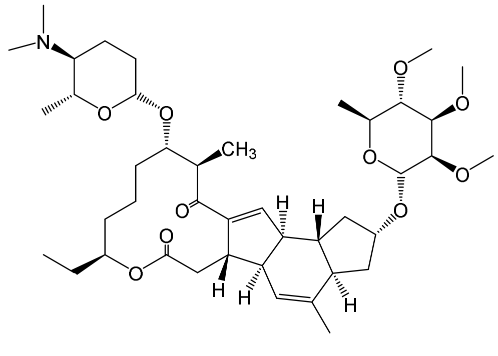
・(2*R*,3a*S*,5a*R*,5b*S*,9*S*,13*S*,14*R*,16a*S*,16b*R*)-2-(6-デオキシ-2,3,4-トリ-*O*-メチル-α-L-マンノピラノシルオキシ)-13-(4-メチルアミノ-2,3,4,6-テトラデオキシ-β-D-エリスロピラノシルオキシ)-9-エチル-2,3,3a,5a,5b,6,7,9,10,11,12,13,14,15,16a,16b-ヘキサデカヒドロ-14-メチル-1*H*-8-オキサシクロドデカ[*b*]*as*-インダセン-7,15-ジオン（以下、代謝物スピノシンBという）

・(2*R*,3a*S*,5a*R*,5b*S*,9*S*,13*S*,14*R*,16a*S*,16b*R*)-2-(6-デオキシ-2,3-ジ-*O*-メチル-α-L-マンノピラノシルオキシ)-13-(4-ジメチルアミノ-2,3,4,6-テトラデオキシ-β-D-エリスロピラノシルオキシ)-9-エチル-2,3,3a,5a,5b,6,7,9,10,11,12,13,14,15,16a,16b-ヘキサデカヒドロ-14-メチル-1*H*-8-オキサシクロドデカ[*b*]*as*-インダセン-7,15-ジオン（以下、代謝物スピノシンKという）

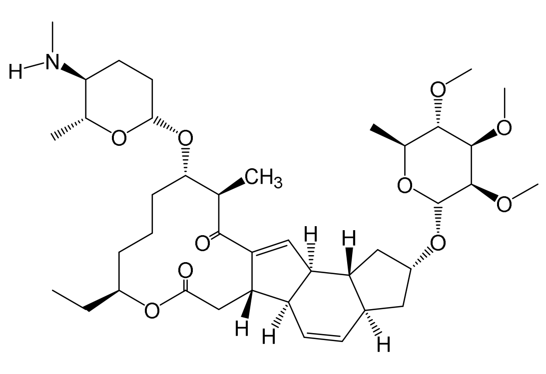
・(2*S*,3a*R*,5a*S*,5b*S*,9*S*,13*S*,14*R*,16a*S*,16b*R*)-2-(6-デオキシ-2,3,4-トリ-*O*-メチル-α-L-マンノピラノシルオキシ)-13-(4-ジメチルアミノ-2,3,4,6-テトラデオキシ-β-D-エリスロピラノシルオキシ)-9-エチル-2,3,3a,5a,5b,6,7,9,10,11,12,13,14,15,16a,16b-ヘキサデカヒドロ-4,14-ジメチル-1*H*-8-オキサシクロドデカ[*b*]*as*-インダセン-7,15-ジオン（以下、代謝物Demethyl Dという）



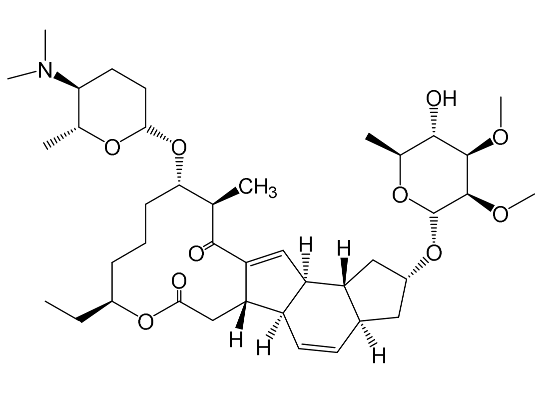
スピノシンA



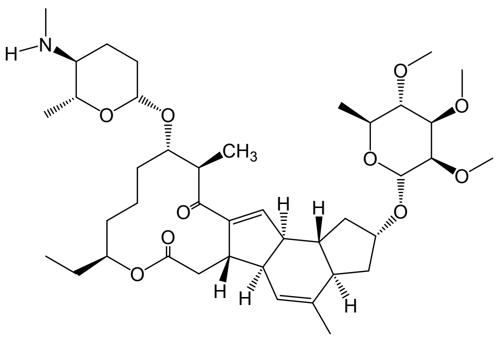
スピノシンD



代謝物スピノシンB



代謝物スピノシンK



代謝物Demethyl D

② 分析法の概要

i）紫外分光光度型検出器付き高速液体クロマトグラフ（HPLC-UV）法

試料からアセトニトリル・水(4:1)混液で抽出し、ジクロロメタンに転溶する。シリカゲルカラム等で精製し、HPLC-UVを用いて定量する。

定量限界： 0.020 ppm

ⅱ）イムノアッセイ法

試料からアセトニトリル・水（4：1）混液で抽出し、CHカラム等で精製した後、イムノアッセイキットを用いて定量する。

定量限界： 0.0010～0.02 ppm

いずれも、すべての化合物の定量値をそのまま合算して残留濃度とする。

③ 比較試験結果

米国では表1に示す比較試験の結果から、スピノサドとスピネトラムの構造的類似性及び残留の類似性からスピノサドの残留試験データをスピネトラムの評価に利用する事は可能とされている。

表1.残留比較試験結果（米国評価データ）

作物名	総散布量 (g ai/ha)	日	n	残留濃度 (ppm)					
				最低	最高	HAFT[a]	中央値 (STMdR)	平均値 (STMR)	標準偏差
スピネトラム　(合計)									
りんご[b]	500	7	10	ND[c]	0.035	0.027	0.015	0.016	0.011
りんご[d]	500	7	10	ND	0.025	0.022	0.020	0.019	0.004
レタス	300	1	10	0.266	1.344	1.234	0.638	0.766	0.438
オレンジ[b]	210	1	10	0.011	0.072	0.067	0.031	0.034	0.022
オレンジ[d]	210	1	10	0.015	0.081	0.071	0.048	0.046	0.021
トマト	300	1	10	(0.004)[e]	0.042	0.039	0.022	0.020	0.014
てんさい茎葉部	280	3	10	0.168	0.616	0.607	0.345	0.393	0.151
てんさい根部	280	3	10	ND	0.014	0.014	(0.009)	(0.009)	0.005
スピノサド　(合計)									
りんご[b]	522	7	10	(0.004)	0.042	0.041	0.018	0.019	0.013
りんご[d]	522	7	10	(0.005)	0.087	0.041	0.017	0.030	0.028
レタス	522	1	10	0.129	4.154	3.837	1.444	1.962	1.658
オレンジ[b]	348	1	10	0.025	0.080	0.076	0.046	0.053	0.021
オレンジ[d]	348	1	10	0.022	0.129	0.120	0.082	0.076	0.035
トマト	522	1	10	0.015	0.050	0.042	0.036	0.034	0.009
てんさい茎葉部	370	3	10	0.120	1.197	1.080	0.474	0.604	0.320
てんさい根部	370	3	10	ND	0.019	0.016	(0.007)	(0.008)	0.006

a :HAFT = 圃場試験最高平均値　b :低散布液量処理（～75 gal/A）　c :ND = 不検出
d :高散布液量処理（～350 gal/A）　e :括弧は0.003 µg/g以上0.01 µg/g未満の残留濃度を示す
※検出されなかった試料は、濃度を0として計算した

また、米国の評価に用いられた比較試験結果に加え、より多くの作物で残留の類似性を確認する必要があったことから、追加作物での残留試験データについて検証した(表2参照)。

表2.残留比較試験結果

作物	総使用量平均値 (g ai/ha)		経過日数(日)		最大残留濃度の最大値（ppm)		最大残留濃度の平均値（ppm)	
	ｽﾋﾟﾈﾄﾗﾑ	ｽﾋﾟﾉｻﾄﾞ	ｽﾋﾟﾈﾄﾗﾑ	ｽﾋﾟﾉｻﾄﾞ	ｽﾋﾟﾈﾄﾗﾑ	ｽﾋﾟﾉｻﾄﾞ	ｽﾋﾟﾈﾄﾗﾑ	ｽﾋﾟﾉｻﾄﾞ
ねぎ	265	530	1	1	0.43	1.15	0.142	0.467
セロリ	301	500	1	1	3.02	1.84	0.793	0.952
リーフレタス	244	500	1	1	0.21	5.38	0.090	3.347
ほうれんそう	294	500	1	1	3.69	6	1.573	3.623
キャベツ	300	500	1	1	0.15	0.46	0.063	0.102
ブロッコリー	285	500	1	1	0.21	0.76	0.129	0.467
未成熟インゲン	200	500	3	3	0.04	0.17	0.023	0.070
きゅうり	267	530	3	1	0.06	0.07	0.023	0.047
もも	372	500	7	14	0.08	0.05	0.029	0.030
すもも	401	500	7	7	0.03	0.012	0.023	0.011
メロン類果実	400	530	3	3	0.03	0.19	0.030	0.098
おうとう	329	500	7	7	0.07	0.14	0.032	0.062
ラズベリー	343	585	1	1	0.42	0.58	0.233	0.544

※スピネトラムとスピノサドのいずれかの最大残留濃度が定量限界未満の作物は、比較対象から除外した。

表1及び表2の残留比較試験結果について、スピネトラム、スピノサド各試験の最大残留濃度の平均値の使用量当たりの比（スピネトラム/スピノサド）で算出した。結果については表3に示す。

表3. 残留比較試験結果（まとめ）

作物	分類	最大残留濃度の平均値の比 （スピネトラム／スピノサド）
リーフレタス (注1)	きく科野菜	0.06
メロン類 (注1)	メロン類果実	0.18
ブロッコリー	あぶらな科野菜	0.48
りんご	果実（仁果類）	0.56
ねぎ（含リーキ）	ゆり科野菜	0.61
レタス	きく科野菜	0.68
ラズベリー	ベリー類果実	0.73
ほうれんそう	野菜	0.74
おうとう	果実（核果類）	0.78
未成熟インゲン	未成熟豆類	0.80
きゅうり (注2)	うり科野菜	0.80
てんさい茎葉部	―	0.86
オレンジ	かんきつ類果実	1.00
キャベツ	あぶらな科野菜	1.02
トマト	なす科野菜	1.02
もも（全果実） (注3)	果実（核果類）	1.34
セロリ	せり科野菜	1.39
すもも (注1)	果実（核果類）	3.08

(注1) これらの結果は定量下限値付近のデータが多く、信頼性が低いものと考えられる。

(注2) 経過日数：スピネトラム3日、スピノサド1日

(注3) 経過日数：スピネトラム7日、スピノサド14日

これら比較試験の結果から、

・比較試験で使用した作物については、スピネトラムとスピノサドの残留濃度はほぼ同様の傾向を示すと考えられること

・比較試験で使用した作物は、幅広い作物群で実施されており、スピネトラムとスピノサドは構造的にも類似していることから、比較試験を行っていない他の作物の残留濃度もほぼ同様の傾向を示すことが推定されること

・製剤間での残留濃度も検討され、読み替え可能であることが米国において評価されていること

を踏まえ、スピノサドの残留試験結果をスピネトラムの作物残留の評価に利用することは可能であると考えられた。

なお、食品安全委員会による食品健康影響評価においても、スピネトラムの残留試験結果をスピノサドに読み替えることは可能であると評価されている。

（２）作物残留試験結果

国内で実施された作物残留試験結果の概要については別紙1-1、海外で実施されたスピノサドの作物残留試験の結果については別紙1-2、スピネトラムの作物残留試験結果については別紙1-3及び1-4を参照。

４．畜産物への推定残留濃度

（１）分析の概要

① 分析対象の化合物

・スピネトラム（スピネトラム-J 及びスピネトラム-L の混合物）

・代謝物Ｂ

・代謝物Ｄ

② 分析法の概要

試料からアセトニトリル・水(4：1)混液で抽出し、C_{18}カラムを用いて精製した後、LC-MS/MS で定量する。

定量限界：0.01 ppm

（２）家畜残留試験（動物飼養試験）

① 乳牛における残留試験

乳牛に対して、スピネトラム、代謝物Ｂ及び代謝物Ｄの合計量が飼料中濃度として 1.2、3.7、11.5 及び 38.6 ppm に相当する量を含有するゼラチンカプセルを 29 日間にわたり摂食させ、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓に含まれるスピネトラム、代謝物Ｂ及び代謝物Ｄの濃度を測定した（定量限界：0.01 ppm）。

また、乳については、投与開始２日前、投与開始 3、7、10、14、16、18、20、22、24、26 及び 28 日後に搾乳したものを測定した（定量限界：0.01 ppm）。結果については表４を参照。

表4.乳牛の組織中の残留濃度（ppm）

	1.2 ppm投与群 (ｽﾋﾟﾈﾄﾗﾑ:0.4 ppm 代謝物B+D:0.8 ppm)		3.7 ppm投与群 (ｽﾋﾟﾈﾄﾗﾑ:1.3 ppm 代謝物B+D:2.4 ppm)		11.5 ppm投与群 (ｽﾋﾟﾈﾄﾗﾑ:3.8 ppm 代謝物B+D:7.7 ppm)		38.6 ppm投与群 (ｽﾋﾟﾈﾄﾗﾑ:12.9 ppm 代謝物B+D:25.7 ppm)	
	ｽﾋﾟﾈﾄﾗﾑ	ｽﾋﾟﾈﾄﾗﾑ、 代謝物 B+D	ｽﾋﾟﾈﾄﾗﾑ	ｽﾋﾟﾈﾄﾗﾑ、 代謝物 B+D	ｽﾋﾟﾈﾄﾗﾑ	ｽﾋﾟﾈﾄﾗﾑ、 代謝物B+D	ｽﾋﾟﾈﾄﾗﾑ	ｽﾋﾟﾈﾄﾗﾑ、 代謝物B+D
筋肉	<0.01 (<0.01)	<0.02 (<0.02)	0.04 (0.03)	0.05 (0.04)	0.09 (0.12)	0.11 (0.07)	0.20 (0.17)	0.29 (0.23)
脂肪	0.11 (0.09)	0.12 (0.10)	0.69 (0.44)	0.72 (0.46)	1.41 (0.74)	1.49 (0.79)	3.69 (2.39)	3.89 (2.52)
肝臓	<0.01 (0.01)	<0.02 (<0.02)	0.057 (0.05)	0.10 (0.10)	0.11 (0.11)	0.22 (0.21)	0.47 (0.39)	0.93 (0.73)
腎臓	<0.01 (<0.01)	<0.02 (<0.02)	0.04 (0.05)	0.08 (0.06)	0.07 (0.07)	0.13 (0.12)	0.30 (0.28)	0.57 (0.49)
乳	(<0.01)	(<0.02)	(0.018)	(0.028)	(0.072)	(0.082)	(0.25)	(0.28)

上段：最大残留濃度　　下段及び（）内：平均的な残留濃度

上記の結果に関連して、JMPRでは肉牛及び乳牛におけるMDB[注)]をそれぞれ0.192 ppm及び0.270 ppm、飼料作物の作物残留試験の中央値（STMR；Supervised Trials Median residue）を用いて求めた肉牛及び乳牛における平均的な残留農薬濃度（STMR dietary burden）をそれぞれ0.135 ppm及び0.185 ppmと評価している。

注）最大飼料由来負荷（Maximum Dietary Burden：MDB）：飼料として用いられる全ての飼料品目に残留基準まで残留していると仮定した場合に、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる最大量。飼料中残留濃度として表示される。

（３）推定残留濃度

乳牛について、MDB又はSTMR dietary burdenと各試験における投与量から、畜産物中の推定最大残留濃度と平均的な残留濃度を算出した。結果については、推定最大残留濃度の場合はスピネトラムのみの値、平均的な残留濃度の場合はスピネトラム、代謝物B及びDの和で表した。表5を参照。

表 5. 畜産物中の推定残留濃度；牛（ppm）

	筋肉	脂肪	肝臓	腎臓	乳
乳牛	0.007 (0.009)	0.074 (0.046)	0.007 (0.009)	0.007 (0.009)	0.007 (0.009)
肉牛	0.005 (0.007)	0.053 (0.034)	0.005 (0.007)	0.005 (0.007)	

上段：最大残留濃度　　　　下段：平均的な残留濃度

５．ADI 及び ARfD の評価

食品安全基本法（平成 15 年法律第 48 号）第 24 条第 1 項第 1 号の規定に基づき、食品安全委員会あて意見を求めたスピネトラムに係る食品健康影響評価において、以下のとおり評価されている。

（１）ADI

無毒性量：2.49 mg/kg 体重/day
　　(動物種)　　　雌イヌ
　　(投与方法)　　混餌
　　(試験の種類)　慢性毒性試験
　　(期間)　　　　1 年間
安全係数：100
ADI：0.024 mg/kg 体重/day

（２）ARfD　　設定の必要なし

スピネトラムの単回経口投与等により生ずる可能性のある毒性影響に対する無毒性量のうち最小値は、ラットを用いた一般薬理試験の 600 mg/kg 体重であり、カットオフ値（500 mg/kg 体重）以上であったことから、急性参照用量（ARfD）は設定する必要がないと判断した。

６．諸外国における状況

JMPR が毒性評価を行い、2008 年に ADI が設定され、ARfD は設定の必要なしとされている。国際基準はレタス、トマト等に設定されている。

米国、カナダ、EU、豪州及びニュージーランドについて調査した結果、米国においてアスパラガス、バナナ等に、カナダにおいてブロッコリー、りんご等に、EU においてグレープフルーツ、なし等に、豪州においてりんご、すもも等に、ニュージーランドにおいてブロッコリー、りんご等に基準値が設定されている。

７．基準値案

（１）残留の規制対象

スピネトラム（スピネトラム-J 及びスピネトラム-L の混合物）とする。

作物残留試験において、スピネトラム、代謝物B、C、D、及びEの分析が行われているが、大部分の作物において代謝物の残留濃度が定量限界以下であったことから、スピネトラム（親化合物のみ）と設定した。

なお、食品安全委員会による食品健康影響評価においても、農産物中の暴露評価対象物質をスピネトラム（親化合物のみ）と設定している。

（２）基準値案

別紙2のとおりである。

（３）暴露評価

１日当たり摂取する農薬等の量のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙3参照。

	EDI／ADI(%)注)
一般（1歳以上）	27.5
幼小児（1～6歳）	30.6
妊婦	21.5
高齢者（65歳以上）	35.2

注）各食品の平均摂取量は、平成17年～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査の特別集計業務報告書による。

EDI試算法：作物残留試験成績の平均値×各食品の平均摂取量

スピネトラム作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量（ppm）注1)	各化合物の残留量（ppm）【ｽﾋﾟﾈﾄﾗﾑ-J/ｽﾋﾟﾈﾄﾗﾑ-L/代謝物B/代謝物C/代謝物D/代謝物E】注2)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
水稲 (玄米)	2	0.50%粒剤	50 g/箱散布 (1 kg/10 a)育苗箱処理	1	130, 137, 144 112, 119, 123	圃場A：<0.02 圃場B：<0.02	圃場A：<0.01/<0.01/<0.011/<0.011/<0.010/<0.010（1回, 130日） 圃場B：<0.01/<0.01/<0.011/<0.011/<0.010/<0.010（1回, 112日）
水稲 (玄米)	2	0.50%粒剤+ 11.7%フロアブル	50 g/箱散布 育苗箱処理 +4000倍散布 133.3, 150 L/10 a	1+2	7, 14, 21, 28	圃場A：<0.02 圃場B：<0.02	圃場A：<0.01/<0.01/-/-/-/- 圃場B：<0.01/<0.01/-/-/-/-
だいず (乾燥子実)	2	11.7%フロアブル	2500倍散布 174, 186 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A：<0.02 圃場B：<0.02	圃場A：<0.01/<0.01/-/-/-/- 圃場B：<0.01/<0.01/-/-/-/-
いんげんまめ (乾燥子実)	2	11.7%フロアブル	2500倍散布 180, 200 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A：<0.02 圃場B：<0.02	圃場A：<0.01/<0.01/-/-/-/- 圃場B：<0.01/<0.01/-/-/-/-
かんしょ (塊根)	2	11.7%フロアブル	2500倍散布 179, 181 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A：<0.02 圃場B：<0.02	圃場A：<0.01/<0.01/-/-/-/- 圃場B：<0.01/<0.01/-/-/-/-
だいこん (根部)	2	11.7%フロアブル	2500倍散布 200 L/10 a	2	1, 7, 14, 21 1, 7, 21	圃場A：<0.02 圃場B：<0.02	圃場A：<0.01/<0.01/-/-/-/- 圃場B：<0.01/<0.01/-/-/-/-
だいこん (葉部)	2	11.7%フロアブル	2500倍散布 200 L/10 a	2	1, 7, 14, 21 1, 7, 21	圃場A：3.40 圃場B：2.95	圃場A：2.84/0.56/-/-/-/- 圃場B：2.34/0.61/-/-/-/-
かぶ (根部)	2	11.7%フロアブル	2500倍散布 198～206, 203～239 L/10 a	2	1, 3, 7, 14	圃場A：0.03 圃場B：0.03（2回, 3日）	圃場A：0.02/<0.01/-/-/-/- 圃場B：*0.02/<0.01/-/-/-/-（*2回, 3日）
かぶ (葉部)	2	11.7%フロアブル	2500倍散布 198～206, 203～239 L/10 a	2	1, 3, 7, 14	圃場A：1.34 圃場B：1.38	圃場A：1.02/0.32/-/-/-/- 圃場B：1.06/0.32/-/-/-/-
はくさい (茎葉)	2	11.7%フロアブル	2500倍散布 300, 250 L/10 a	2	1, 7, 14	圃場A：<0.02 圃場B：0.36	圃場A：<0.01/<0.01/-/-/-/- 圃場B：0.28/0.08/-/-/-/-
キャベツ (葉球)	2	11.7%フロアブル	2500倍散布 200 L/10 a	2	1, 7, 14	圃場A：0.18 圃場B：0.05	圃場A：0.14/0.04/0.020/<0.011/<0.010/<0.010 圃場B：0.04/<0.01/0.020/<0.011/<0.010/<0.010
キャベツ (葉球)	2	11.7%フロアブル	50倍灌注 500 mL/ｾﾙﾄﾚｲ +2500倍散布 193～200, 198.8～208.8 L/10 a	1+2	1, 3, 7, 14	圃場A：0.04 圃場B：0.04	圃場A：0.03/<0.01/-/-/-/- 圃場B：0.03/<0.01/-/-/-/-
こまつな (茎葉)	2	11.7%フロアブル	2500倍散布 150～168, 150～200 L/10 a	2	1, 3, 7, 21 1, 3, 7, 20	圃場A：2.46 圃場B：1.39（2回, 3日）	圃場A：1.88/0.58/-/-/-/- 圃場B：*1.09/0.30/-/-/-/-（*2回, 3日）
みずな (茎葉)	2	11.7%フロアブル	2500倍散布 156～182, 200 L/10 a	2	1, 3, 7, 21	圃場A：2.58 圃場B：0.93	圃場A：1.96/0.62/-/-/-/- 圃場B：0.73/0.20/-/-/-/-
チンゲンサイ (茎葉)	2	11.7%フロアブル	2500倍散布 200, 176 L/10 a	2	1, 3, 7, 21	圃場A：1.30 圃場B：1.60	圃場A：1.06/0.24/-/-/-/- 圃場B：1.28/0.32/-/-/-/-
カリフラワー (花蕾)	2	11.7%フロアブル	2500倍散布 200, 263 L/10 a	2	1, 3, 7, 14, 21 1, 7, 14, 21	圃場A：0.11 圃場B：0.03	圃場A：0.08/0.03/-/-/-/- 圃場B：0.02/<0.01/-/-/-/-
ブロッコリー (花蕾)	2	11.7%フロアブル	2500倍散布 300, 200 L/10 a	2	1, 7, 21, 28	圃場A：0.95 圃場B：0.47	圃場A：0.77/0.18/-/-/-/- 圃場B：0.38/0.09/-/-/-/-
なばな (茎葉)	2	11.7%フロアブル	2500倍散布 235, 167 L/10 a	2	1, 3, 7, 14	圃場A：0.57 圃場B：1.99	圃場A：0.40/0.17/-/-/-/- 圃場B：1.54/0.45/-/-/-/-
オータムポエム (茎葉)	2	11.7%フロアブル	2500倍散布 250, 219～251 L/10 a	2	1, 3, 7, 14	圃場A：4.80（2回, 3日） 圃場B：2.82	圃場A：3.84/0.96/-/-/-/-（2回, 3日） 圃場B：2.24/0.58/-/-/-/-
レタス (茎葉)	2	11.7%フロアブル	2500倍散布 200 L/10 a	2	1, 7, 14, 21	圃場A：3.39 圃場B：0.36（2回, 7日）	圃場A：2.65/0.74/0.632/0.061/0.186/0.010 圃場B：*0.29/0.07/*0.041/<0.011/*0.029/<0.010（*2回, 7日）
リーフレタス (茎葉)	2	11.7%フロアブル	2500倍散布 200, 150～200 L/10 a	2	1, 7, 14, 21	圃場A：3.23 圃場B：2.45	圃場A：2.57/0.66/0.612/0.041/0.265/0.010 圃場B：2.06/0.39/0.326/0.020/0.078/<0.010
サラダ菜 (茎葉)	2	11.7%フロアブル	2500倍散布 200 L/10 a	2	1, 7, 14, 21	圃場A：2.47 圃場B：4.30	圃場A：1.96/0.51/0.347/0.041/0.196/0.010 圃場B：3.34/0.96/0.245/0.061/0.157/0.029
たまねぎ (鱗茎)	2	11.7%フロアブル	2500倍散布 200 L/10 a	2	1, 7, 14, 21	圃場A：<0.02 圃場B：<0.02	圃場A：<0.01/<0.01/-/-/-/- 圃場B：<0.01/<0.01/-/-/-/-
ねぎ (茎葉)	2	11.7%フロアブル	2500倍散布 200 L/10 a	2	1, 7, 14, 21	圃場A：0.10 圃場B：0.13	圃場A：0.08/0.02/0.020/<0.011/0.010/<0.010 圃場B：0.10/0.03/0.051/<0.011/0.020/<0.010
にら (茎葉)	2	11.7%フロアブル	2500倍散布 190, 177 L/10 a	2	1, 3, 7, 14	圃場A：0.36 圃場B：0.70	圃場A：0.30/0.06/-/-/-/- 圃場B：0.62/0.08/-/-/-/-
アスパラガス (若茎)	2	11.7%フロアブル	2500倍散布 300, 278 L/10 a	2	1, 3, 7, 14	圃場A：0.06 圃場B：0.03	圃場A：0.05/<0.01/-/-/-/- 圃場B：0.02/<0.01/-/-/-/-
らっきょう (鱗茎)	2	11.7%フロアブル	2500倍散布 200 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A：<0.02 圃場B：<0.02	圃場A：<0.01/<0.01/-/-/-/- 圃場B：<0.01/<0.01/-/-/-/-
トマト (果実)	2	11.7%フロアブル	2500倍散布 200, 250 L/10 a	2	1, 7, 21	圃場A：0.13 圃場B：0.07	圃場A：0.10/0.03/*0.031/<0.011/0.020/<0.010（*2回, 7日） 圃場B：0.05/0.02/<0.011/<0.011/<0.010/<0.010
ミニトマト (果実)	2	11.7%フロアブル	2500倍散布 200 L/10 a	2	1, 7, 21	圃場A：0.08 圃場B：0.27	圃場A：0.07/0.01/*0.031/<0.011/<0.010/<0.010（*2回, 7日） 圃場B：0.22/0.05/0.092/<0.011/0.029/<0.010
ピーマン (果実)	2	11.7%フロアブル	2500倍散布 200 L/10 a	2	1, 7, 14	圃場A：0.12 圃場B：0.30	圃場A：0.10/0.02/-/-/-/- 圃場B：0.24/0.06/-/-/-/-
なす (果実)	2	11.7%フロアブル	2500倍散布 300, 200 L/10 a	2	1, 7, 14	圃場A：0.05 圃場B：0.05	圃場A：0.04/<0.01/0.020/<0.011/<0.010/<0.010 圃場B：0.04/0.01/<0.011/<0.011/<0.010/<0.010
きゅうり (果実)	2	11.7%フロアブル	2500倍散布 240, 200 L/10 a	2	1, 7, 14	圃場A：0.05 圃場B：0.07	圃場A：0.04/0.01/-/-/-/- 圃場B：0.05/0.02/-/-/-/-
かぼちゃ (果実)	2	11.7%フロアブル	2500倍散布 198～204, 200～206L/10a	2	1, 3, 7, 14	圃場A：0.05 圃場B：0.05	圃場A：0.04/<0.01/-/-/-/- 圃場B：0.04/0.01/-/-/-/-
かぼちゃ (果実)	1	11.7%フロアブル	2500倍散布 250L/10a	2	1, 3, 7, 14	圃場A：0.03	圃場A：0.02/<0.01/-/-/-/-
メロン (果肉)	2	11.7%フロアブル	2500倍散布 300 L/10 a	2	1, 7, 14	圃場A：<0.02 圃場B：<0.02	圃場A：<0.01/<0.01/-/-/-/- 圃場B：<0.01/<0.01/-/-/-/-
ほうれんそう (茎葉)	2	11.7%フロアブル	2500倍散布 150～159, 179 L/10 a	2	1, 3, 6, 20 1, 3, 7, 21	圃場A：4.82 圃場B：3.92	圃場A：3.76/1.06/-/-/-/- 圃場B：3.08/0.84/-/-/-/-

スピネトラム作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量（ppm）注1)	各化合物の残留量（ppm）【ｽﾋﾟﾈﾄﾗﾑ-J/ｽﾋﾟﾈﾄﾗﾑ-L/代謝物B/代謝物C/代謝物D/代謝物E】注2)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
さやえんどう（さや）	2	11.7%フロアブル	2500倍散布 300,241 L/10 a	2	1,3,7,14,21	圃場A：0.64	圃場A：0.51/0.13/-/-/-/-
						圃場B：0.18	圃場B：0.14/0.04/-/-/-/-
さやいんげん（さや）	2	11.7%フロアブル	2500倍散布 199～210,201～208 L/10 a	2	1,3,7,14,21	圃場A：0.32	圃場A：0.24/0.08/-/-/-/-
						圃場B：0.15	圃場B：0.12/0.03/-/-/-/-
えだまめ（さや）	2	11.7%フロアブル	2500倍散布 156～190,200～201 L/10 a	2	1,3,7,14,21	圃場A：0.13	圃場A：0.10/0.03/-/-/-/-
						圃場B：0.10	圃場B：0.08/0.02/-/-/-/-
みかん（果肉）	2	25.0%顆粒水和剤	5000倍散布 500,700 L/10 a	2	1,7,14,21	圃場A：<0.02	圃場A：<0.01/<0.01/-/-/-/-
						圃場B：<0.02	圃場B：<0.01/<0.01/-/-/-/-
みかん（果皮）	2	25.0%顆粒水和剤	5000倍散布 500,700 L/10 a	2	1,7,14,21	圃場A：0.58	圃場A：0.47/0.11/-/-/-/-
						圃場B：1.02	圃場B：0.84/0.18/-/-/-/-
なつみかん（果実）	2	25.0%顆粒水和剤	5000倍散布 500,700 L/10 a	2	1,7,14,21	圃場A：0.04	圃場A：0.03/<0.01/-/-/-/-
						圃場B：0.10	圃場B：0.08/0.02/-/-/-/-
かぼす（果実）	2	25.0%顆粒水和剤	5000倍散布 500 L/10 a	2	1,7,14,21	圃場A：0.23	圃場A：0.18/0.05/-/-/-/-
すだち（果実）	2	25.0%顆粒水和剤	5000倍散布 700 L/10 a	2	1,7,14,21	圃場A：0.22	圃場A：0.18/0.04/-/-/-/-
りんご（果実）	2	25.0%顆粒水和剤	5000倍散布 500 L/10 a	2	1,7,14,21	圃場A：0.14	圃場A：0.12/0.02/0.020/<0.011/0.010/<0.010
						圃場B：0.09	圃場B：0.08/0.01/<0.011/<0.011/<0.010/<0.010
なし（果実）	2	25.0%顆粒水和剤	5000倍散布 300,500 L/10 a	2	1,7,14,21	圃場A：0.12	圃場A：0.11/<0.01/0.011/<0.011/<0.010/<0.010
						圃場B：0.09	圃場B：0.08/<0.01/<0.011/<0.011/<0.010/<0.010
もも（果肉）	2	25.0%顆粒水和剤	5000倍散布 400,500 L/10 a	2	1,7,13,19	圃場A：<0.02	圃場A：<0.01/<0.01/<0.011/<0.011/<0.010/<0.010
					1,7,14,21	圃場B：<0.02	圃場B：<0.01/<0.01/<0.011/<0.011/<0.010/<0.010
もも（果皮）	2	25.0%顆粒水和剤	5000倍 400,500 L/10 a	2	1,7,13,19	圃場A：2.06	圃場A：1.84/0.22/0.326/0.011/0.304/<0.010
					1,7,14,21	圃場B：2.30	圃場B：1.90/0.40/0.245/0.020/0.274/0.010
ネクタリン（果実）	2	25.0%顆粒水和剤	5000倍散布 367,350 L/10 a	2	1,7,14,21	圃場A：0.12	圃場A：0.10/0.02/-/-/-/-
						圃場B：0.12	圃場B：0.10/0.02/-/-/-/-
すもも（果実）	2	25.0%顆粒水和剤	5000倍散布 350,360 L/10 a	2	1,3,7,21	圃場A：<0.02	圃場A：<0.01/<0.01/-/-/-/-
						圃場B：0.05	圃場B：0.04/0.01/-/-/-/-
うめ（果実）	2	25.0%顆粒水和剤	5000倍散布 375,388～392 L/10 a	2	1,3,7,20	圃場A：0.23	圃場A：0.19/0.04/-/-/-/-
					1,3,7,21	圃場B：0.22	圃場B：0.18/0.04/-/-/-/-
おうとう（果実）	2	25.0%顆粒水和剤	5000倍散布 450,416～438 L/10 a	2	1,7,14,21	圃場A：0.07	圃場A：0.06/<0.01/-/-/-/-
						圃場B：0.15	圃場B：0.12/0.03/-/-/-/-
いちご（果実）	2	11.7%フロアブル	2500倍散布 200 L/10 a	2	1,7,14	圃場A：0.14	圃場A：0.11/0.03/0.020/<0.011/<0.010/<0.010
						圃場B：0.58	圃場B：0.46/0.12/0.051/<0.011/0.039/<0.010
ブルーベリー（果実）	2	25.0%顆粒水和剤	5000倍散布 300,250 L/10 a	2	1,7,14,21	圃場A：0.03	圃場A：0.02/<0.01/-/-/-/-
						圃場B：0.17	圃場B：0.14/0.03/-/-/-/-
アロニア（果実）	2	25.0%顆粒水和剤	10000倍散布 200 L/10 a	2	1,3,7	圃場A：0.11	圃場A：0.10/<0.01/-/-/-/-
						圃場B：0.11	圃場B：0.10/0.01/-/-/-/-
ぶどう（果実）	2	25.0%顆粒水和剤	5000倍散布 300 L/10 a	2	1,7,14,21	圃場A：0.20	圃場A：0.16/0.04/-/-/-/-
						圃場B：0.14	圃場B：0.11/0.03/-/-/-/-
かき（果実）	2	25.0%顆粒水和剤	5000倍散布 500,450 L/10 a	2	1,7,14,21	圃場A：0.07	圃場A：0.06/0.01/-/-/-/-
						圃場B：0.05	圃場B：0.04/<0.01/-/-/-/-
マンゴー（果実）	2	25.0%顆粒水和剤	5000倍散布 360,500 L/10 a	2	1,3,7,14	圃場A：0.03	圃場A：0.02/<0.01/-/-/-/-
						圃場B：0.09	圃場B：0.07/0.02/-/-/-/-
いちじく（果実）	2	25.0%顆粒水和剤	5000倍散布 313～317,400 L/10 a	2	1,3,7,21	圃場A：0.14	圃場A：0.11/0.03/-/-/-/-
						圃場B：0.10	圃場B：0.08/0.02/-/-/-/-
くり（果実）	2	25.0%顆粒水和剤	10000倍散布 375,376 L/10 a	2	1,3,7	圃場A：<0.02	圃場A：<0.01/<0.01/-/-/-/-
					1,3,5	圃場B：<0.02	圃場B：<0.01/<0.01/-/-/-/-
茶（荒茶）	2	11.7%フロアブル	2500倍散布 300 L/10 a	1	7,14,20,29	圃場A：1.26	圃場A：1.08/0.18/0.520/0.020/0.706/<0.010（1回,7日）
					7,14,21,30	圃場B：0.33	圃場B：0.29/0.04/0.173/<0.011/0.284/<0.010（1回,7日）
	2	11.7%フロアブル	2500倍散布 380,385 L/10 a	1	1,3,7,14	圃場A：31.1	圃場A：23.4/7.68/-/-/-/-
						圃場B：12.5	圃場B：9.66/2.86/-/-/-/-
茶（浸出液）	2	11.7%フロアブル	2500倍散布 380,385 L/10 a	1	1,3,7,14	圃場A：0.40	圃場A：0.32/0.08/-/-/-/-
						圃場B：0.25	圃場B：0.20/0.05/-/-/-/-
茶（荒茶）	6	11.7%フロアブル	2500倍散布 310,333,392, 378,333,385 L/10 a	1	1,3,7	圃場A：20.0	圃場A：16.0/3.96/-/-/-/-
						圃場B：15.7	圃場B：12.6/3.12/-/-/-/-
						圃場C：20.0	圃場C：16.4/3.58/-/-/-/-
						圃場D：32.4	圃場D：26.0/6.43/-/-/-/-
						圃場E：40.4	圃場E：32.3/8.13/-/-/-/-
						圃場F：6.08	圃場F：4.94/1.14/-/-/-/-
さんしょう（果実）	2	25.0%顆粒水和剤	5000倍散布 250,200～217 L/10 a	2	1,3,7,14	圃場A：0.55	圃場A：0.46/0.09/-/-/-/-
						圃場B：0.58	圃場B：0.48/0.10/-/-/-/-

注1）「最大残留量」欄に記載した残留値は、スピネトラム-J及びスピネトラム-Lの和。各化合物の残留量については、「各化合物の残留量」の欄に示した。

最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留量。（参考：平成１０年８月７日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に係る意見具申」）

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留量が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留量が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（　）内に記載した。

注２） 代謝物B、代謝物C、代謝物D、代謝物Eの測定値はそれぞれスピネトラム-J、スピネトラム-Lに換算した数値である。

注３）今回、新たに提出された作物残留試験成績に網を付けて示している。

スピノサド作物残留試験一覧表（米国）

農作物	試験圃場数	試験条件 剤型	試験条件 使用量・使用方法	試験条件 回数	試験条件 経過日数	最大残留量（ppm）注1)	各化合物の残留量（ppm）【ｽﾋﾟﾉｼﾝA/ｽﾋﾟﾉｼﾝB/ｽﾋﾟﾉｼﾝD/ｽﾋﾟﾉｼﾝK/Demethyl D】
ばれいしょ（塊茎）	14	22.8% フロアブル	総使用量 370 g ai/ha 散布	3	*6*		圃場A：総残留量 <0.005*(#) 注2)
					7		圃場B：総残留量 <0.005*
							圃場C：総残留量 <0.005*
							圃場D：総残留量 <0.005*
							圃場E：総残留量 <0.005*
							圃場F：総残留量 <0.005*
							圃場G：総残留量 <0.005*
							圃場H：総残留量 <0.005*
					8		圃場I：総残留量 <0.005*
							圃場J：総残留量 <0.005*
							圃場K：総残留量 <0.005*
							圃場L：総残留量 <0.005*
							圃場M：総残留量 <0.005*
							圃場N：総残留量 <0.005*
	2		総使用量 *1850* g ai/ha 散布	3	7		圃場A：総残留量 <0.005*(#)
					8		圃場B：総残留量 <0.005*(#)
てんさい（根部）	1	22.8% フロアブル	総使用量 400 g ai/ha 散布	4	*2*		圃場A：総残留量 0.02～0.03*(#)
	2				3		圃場B：総残留量 <0.01～0.02*
							圃場C：総残留量 0.01～0.03*
	2				4		圃場D：総残留量 0.05～0.07*
							圃場E：総残留量 0.02～0.06*
だいこん（根部）	5	22.8% フロアブル	総使用量 316 g ai/ha 散布	3	3		圃場A：総残留量 <0.010*
							圃場B：総残留量 0.015*
							圃場C：総残留量 0.017*
							圃場D：総残留量 0.038*
							圃場E：総残留量 0.012*
キャベツ（葉球）	8	81.9% 顆粒水和剤	総使用量 500 g ai/ha 散布	4	1,3	圃場A：0.037	圃場A：0.030/ND/0.007/ND/ND
						圃場B：0.006	圃場B：0.006/ND/ND/ND/0.006
						圃場C：0.031	圃場C：0.031/ND/ND/ND/ND
						圃場D：0.016	圃場D：0.016/ND/ND/0.004/ND
						圃場E：0.007	圃場E：0.007/ND/ND/ND/ND
						圃場F：0.063	圃場F：0.058/ND/0.005/ND/ND
					1,3,5	圃場G：0.218	圃場G：0.191/0.007/0.027/ND/ND
						圃場H：0.459	圃場H：0.403/0.058/0.056/ND/0.008
ブロッコリー（花蕾）	8	81.9% 顆粒水和剤	2500倍散布 150～159,179 L/10 a	4	1,3	圃場A：0.237	圃場A：0.207/0.034/0.030/ND/0.007
						圃場B：0.602	圃場B：0.546/0.017/0.056/ND/0.005
						圃場C：0.247	圃場C：0.220/0.019/0.027/0.004/ND
						圃場D：0.761	圃場D：0.696/0.094/0.065/0.004/0.005
						圃場E：0.536	圃場E：0.483/0.028/0.053/ND/0.003
						圃場F：0.503	圃場F：0.443/0.050/0.060/0.009/0.005
						圃場G：0.196	圃場G：0.178/0.013/0.018/ND/ND
					0,1,3,5,7,10	圃場H：0.657	圃場H：0.577/0.047/0.080/ND/0.005
からしな（茎葉）	8	81.9% 顆粒水和剤	総使用量 500 g ai/ha 散布	4	1,3	圃場A：6.926	圃場A：6.162/0.400/0.764/0.009/0.053
						圃場B：7.707	圃場B：6.817/0.335/0.890/0.010/0.050
						圃場C：0.055	圃場C：0.049/0.004/0.006/ND/ND
						圃場D：4.348	圃場D：3.811/0.150/0.537/0.004/0.018
						圃場E：6.670	圃場E：5.891/0.218/0.779/0.013/0.028
					1,3,5	圃場F：5.184	圃場F：4.585/0.297/0.599/ND/0.036
						圃場G：1.296	圃場G：1.166/0.094/0.130/ND/0.016
					0,1,3,5,7,10	圃場H：3.647	圃場H：3.226/0.247/0.421/0.015/0.019
レタス（茎葉）	3	*44.2% フロアブル*	総使用量 500 g ai/ha 散布	6	1,3		圃場A：総残留量 <0.005*(6回,1日)(#)
							圃場B：総残留量 2.06*(6回,1日)(#)
					0,1,3,5		圃場C：総残留量 0.05*(6回,1日)(#)
リーフレタス（茎葉）	6	*44.2% フロアブル*	総使用量 500 g ai/ha 散布	6	1,3		圃場A：総残留量 5.16*(6回,1日)(#)
							圃場B：総残留量 1.69*(6回,1日)(#)
							圃場C：総残留量 1.84*(6回,1日)(#)
							圃場D：総残留量 5.38*(6回,1日)(#)
							圃場E：総残留量 1.77*(6回,1日)(#)
							圃場F：総残留量 4.24*(6回,1日)(#)
セロリ（茎葉）	6	*44.2% フロアブル*	総使用量 500 g ai/ha 散布	6	1,3		圃場A：総残留量 1.11*(6回,1日)(#)
							圃場B：総残留量 0.72*(6回,1日)(#)
							圃場C：総残留量 0.74*(6回,1日)(#)
							圃場D：総残留量 0.37*(6回,1日)(#)
							圃場E：総残留量 1.84*(6回,1日)(#)
					0,1,3,5		圃場F：総残留量 0.93*(6回,1日)(#)
							圃場A：総残留量 1.43*(6回,1日)(#)

(別紙1-2)

スピノサド作物残留試験一覧表（米国）

農作物	試験圃場数	試験条件 剤型	試験条件 使用量・使用方法	試験条件 回数	試験条件 経過日数	最大残留量（ppm）注1)	各化合物の残留量（ppm）【ｽﾋﾟﾉｼﾝA/ｽﾋﾟﾉｼﾝB/ｽﾋﾟﾉｼﾝD/ｽﾋﾟﾉｼﾝK/Demethyl D】
ほうれんそう（茎葉）	3	44.2% フロアブル	総使用量 500 g ai/ha 散布	6	1,3		圃場B：総残留量 3.44*(6回,1日)(#) 圃場C：総残留量 6.00*(6回,1日)(#)
ねぎ（茎葉）	3	22.8% フロアブル	530 g ai/ha 散布	5	1		圃場A：総残留量 0.16* 圃場B：総残留量 0.09* 圃場C：総残留量 1.15*
きゅうり（果実）	6	22.8% フロアブル	総使用量 530 g ai/ha 散布	6	1		圃場A：総残留量 0.06* 圃場B：総残留量 0.06* 圃場C：総残留量 0.009 圃場D：総残留量 0.07* 圃場E：総残留量 0.05* 圃場F：総残留量 0.03*
かぼちゃ（果実）	3	22.8% フロアブル	総使用量 530 g ai/ha 散布	6	3		圃場A：総残留量 0.04* 圃場B：総残留量 0.03* 圃場C：総残留量 <0.005*
メロン（果実）	6	22.8% フロアブル	総使用量 530 g ai/ha 散布	6	3		圃場A：総残留量 0.14* 圃場B：総残留量 0.03* 圃場C：総残留量 0.05* 圃場D：総残留量 0.07* 圃場E：総残留量 0.19* 圃場F：総残留量 0.11*
メロン（果皮を除く）	3	22.8% フロアブル	総使用量 530 g ai/ha 散布	6	3		圃場A：総残留量 <0.005* 圃場B：総残留量 <0.005* 圃場C：総残留量 <0.005*
さやいんげん（さや）	11	22.8% フロアブル	総使用量 500 g ai/ha 散布	6	3		圃場A：総残留量 0.15* 圃場B：総残留量 0.17* 圃場C：総残留量 0.02* 圃場D：総残留量 0.14* 圃場E：総残留量 0.02* 圃場F：総残留量 0.04* 圃場G：総残留量 0.09* 圃場H：総残留量 0.06* 圃場I：総残留量 <0.005* 圃場J：総残留量 <0.02* 圃場K：総残留量 <0.005*
さやえんどう（さや）	7	22.8% フロアブル	総使用量 500 g ai/ha 散布	6	3		圃場A：総残留量 0.23* 圃場B：総残留量 0.21* 圃場C：総残留量 0.07* 圃場D：総残留量 0.03* 圃場E：総残留量 0.04* 圃場F：総残留量 <0.005* 圃場G：総残留量 0.02*
もも（核を除く）	10	22.8% フロアブル	総使用量 560 g ai/ha 散布	4	*1,3*	圃場A：0.068 圃場B：0.066 圃場C：0.121 圃場D：0.119 圃場E：0.121 圃場F：0.099 圃場G：0.106 圃場H：0.080 圃場I：0.120 圃場J：0.052	圃場A：0.048/-/<0.020/-/-(#) 圃場B：0.046/-/<0.020/-/-(#) 圃場C：0.099/-/0.022/-/-(#) 圃場D：0.099/-/<0.020/-/-(#) 圃場E：0.10/-/0.021/-/-(#) 圃場F：0.079/-/<0.020/-/-(#) 圃場G：0.086/-/<0.020/-/-(#) 圃場H：0.060/-/<0.020/-/-(#) 圃場I：0.098/-/0.022/-/-(#) 圃場J：0.032/-/<0.020/-/-(#)
	6	22.8% フロアブル	総使用量 500 g ai/ha 散布	4	14		圃場A：総残留量 0.010* 圃場B：総残留量 0.053* 圃場C：総残留量 0.033* 圃場D：総残留量 0.006* 圃場E：総残留量 0.014* 圃場F：総残留量 0.061*
すもも（核を除く）	4	22.8% フロアブル	総使用量 500 g ai/ha 散布	4	7		圃場A：総残留量 0.012* 圃場B：総残留量 <0.005* 圃場C：総残留量 <0.005* 圃場D：総残留量 0.010*
プルーン（核を除く）	2	22.8% フロアブル	総使用量 *1750* g ai/ha 散布	4	7		圃場A：総残留量 0.068*(#) 圃場B：総残留量 0.058*(#)
プルーン（乾燥果実、核を除く）	2	22.8% フロアブル	総使用量 *1750* g ai/ha 散布	4	7		圃場A：総残留量 0.065*(#) 圃場B：総残留量 0.050*(#)

スピノサド作物残留試験一覧表（米国）

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量（ppm）注1)	各化合物の残留量（ppm）【ｽﾋﾟﾉｼﾝA/ｽﾋﾟﾉｼﾝB/ｽﾋﾟﾉｼﾝD/ｽﾋﾟﾉｼﾝK/Demethyl D】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
おうとう （核を除く）	7	22.8% フロアブル	総使用量 500 g ai/ha 散布	4	<u>7</u>		圃場A：総残留量 0.020*
							圃場B：総残留量 0.105*
							圃場C：総残留量 0.135*
							圃場D：総残留量 0.035*
							圃場E：総残留量 0.009*
							圃場F：総残留量 0.063*
							圃場G：総残留量 0.070*
ラズベリー （果実）	1	22.8% フロアブル	総使用量 530 g ai/ha 散布	5	<u>1</u>		圃場A：総残留量 0.134～0.509*
	1	22.8% フロアブル	総使用量 *640* g ai/ha 散布	6	1		圃場A：総残留量 <0.010～0.578*(#)
クランベリー （果実）	6	22.8% フロアブル	総使用量 520 g ai/ha 散布	3	21		圃場A：総残留量 <0.01*
							圃場B：総残留量 <0.01*
							圃場C：総残留量 <0.01*
							圃場D：総残留量 <0.01*
					20		圃場E：総残留量 <0.01*
							圃場F：総残留量 <0.01*
バナナ （果実）	5	22.8% フロアブル	0.0205～0.0256 g ai/果軸 散布	4	<u>56</u>		圃場A：総残留量 0.0224～0.0299*
							圃場B：総残留量 0.175～0.199*
							圃場C：総残留量 0.0371～0.0474*
					53		圃場D：総残留量 0.0269～0.0390*
					55		圃場E：総残留量 0.1096～0.1534*
パイナップル （果実）	3	22.8% フロアブル	総使用量 530 g ai/ha 散布	5	<u>7</u>	圃場A：<0.040	圃場A：<0.020/-/<0.020/-/-
						圃場B：<0.040	圃場B：<0.020/-/<0.020/-/-
			総使用量 420 g ai/ha 散布	4	6	圃場C：<0.040	圃場C：<0.020/-/<0.020/-/-
アーモンド （外果皮を除く）	5	22.8% フロアブル	総使用量 530 g ai/ha 散布	3	1, 3	圃場A：0.0639	圃場A：0.0439/-/<0.020/-/-
						圃場B：0.0667	圃場B：0.0467/-/<0.020/-/-
						圃場C：<0.040	圃場C：<0.020/-/<0.020/-/-
						圃場D：0.0519	圃場D：0.0319/-/<0.020/-/-
					1, 4	圃場E：<0.040	圃場E：<0.020/-/<0.020/-/-

ND：Not detected

注1）「最大残留量」欄に記載した残留値は、スピノシンA及びスピノシンDの和。各化合物の残留量については、「各化合物の残留量」の欄に示した。
　最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留量。（参考：平成１０年８月７日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に係る意見具申」）
　表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付している。

注２）(#)：これらの作物残留試験は、申請の適用範囲内で試験が行われていない。なお、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。
＊：イムノアッセイ分析

（別紙1-3）

スピネトラム海外作物残留試験一覧表（米国）

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量（ppm）注1)	各化合物の残留量（ppm）【ｽﾋﾟﾈﾄﾗﾑｰJ/ｽﾋﾟﾈﾄﾗﾑｰL/代謝物B/代謝物C/代謝物D/代謝物E】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
りんご	10	*97 g/L フロアブル*	総使用量 502 g/ai/ha (75 gal/A)	5	*7*	圃場A：<0.02	圃場A：0.004/<0.003/<0.003/<0.003/0.003/<0.003(#) 注2)
			総使用量 498 g/ai/ha (294～300 gal/A)	5	*7*	圃場B：<0.02	圃場B：0.008/<0.003/0.004/<0.003/0.010/<0.003(#)
			総使用量 505 g/ai/ha (72～81 gal/A)	5	*7*	圃場C：0.02	圃場C：0.012/<0.003/0.004/<0.003/<0.003/<0.003(#)
			総使用量 509 g/ai/ha (330～366 gal/A)	5	*7*	圃場D：0.02	圃場D：0.011/<0.003/0.004/<0.003/0.006/<0.003(#)
			総使用量 508 g/ai/ha (74～75 gal/A)	5	*7*	圃場E：<0.02	圃場E：<0.003/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003(#)
			総使用量 507 g/ai/ha (311～314 gal/A)	5	*7*	圃場F：<0.02	圃場F：<0.003/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003(#)
			総使用量 494 g/ai/ha (80～82 gal/A)	5	*7*	圃場G：<0.02	圃場G：0.004/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003(#)
			総使用量 498 g/ai/ha (349～363 gal/A)	5	*7*	圃場H：<0.02	圃場H：0.0074/<0.003/<0.003/<0.003/0.006/<0.003(#)
			総使用量 500 g/ai/ha (75 gal/A)	5	*1, 3, 7,* 14	圃場I：0.02	圃場I：0.010/<0.003/0.008/<0.003/0.009/<0.003(#)
			総使用量 499 g/ai/ha (348～351 gal/A)	5	*1, 3, 7,* 14	圃場J：<0.02	圃場J：0.006/<0.003/0.003/<0.003/0.014/<0.003(#)
オレンジ	10	*97 g/L フロアブル*	総使用量 213 g/ai/ha (71～81 gal/A)	3	1	圃場A：0.04	圃場A：0.030/0.005/0.012/<0.003/0.020/<0.003(#)
			総使用量 212 g/ai/ha (348～366 gal/A)	3	1	圃場B：0.02	圃場B：0.014/0.003/0.006/<0.003/0.024/<0.003(#)
			総使用量 214 g/ai/ha (68～76 gal/A)	3	1	圃場C：0.03	圃場C：0.018/0.003/0.009/<0.003/0.011/<0.003(#)
			総使用量 212 g/ai/ha (344～355 gal/A)	3	1	圃場D：0.03	圃場D：0.018/0.003/0.009/<0.003/0.020/<0.003(#)
			総使用量 213 g/ai/ha (75～77 gal/A)	3	1	圃場E：<0.02	圃場E：0.008/<0.003/0.005/<0.003/0.011/<0.003(#)
			総使用量 211 g/ai/ha (349～356 gal/A)	3	1	圃場F：<0.02	圃場F：0.004/<0.003/0.003/<0.003/0.008/<0.003(#)
			総使用量 211 g/ai/ha (80～81 gal/A)	3	1	圃場G：<0.02	圃場G：0.005/<0.003/<0.003/<0.003/0.004/<0.003(#)
			総使用量 210 g/ai/ha (351～354 gal/A)	3	1	圃場H：0.03	圃場H：0.021/0.004/0.007/<0.003/0.040/<0.003(#)
			総使用量 209 g/ai/ha (79～83 gal/A)	3	1, 3, 7, 14	圃場I：0.02	圃場I：0.011/0.003/0.003/<0.003/0.017/<0.003(#)
			総使用量 210 g/ai/ha (347～362 gal/A)	3	1, 3, 7, 14	圃場J：0.02	圃場J：0.011/<0.003/0.004/<0.003/0.034/<0.003(#)

注1）「最大残留量」欄に記載した残留値は、スピネトラム-J及びスピネトラム-Lの和。各化合物の残留量については、「各化合物の残留量」の欄に示した。
　最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留量。（参考：平成１０年８月７日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に係る意見具申」）
　表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付している。

注2）(#)：これらの作物残留試験は、申請の適用範囲内で試験が行われていない。なお、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

スピネトラム海外作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1) (ｽﾋﾟﾈﾄﾗﾑ-J及びｽﾋﾟﾈﾄﾗﾑ-Lの和)	最大残留量 (ppm) (ｽﾋﾟﾈﾄﾗﾑ-J、ｽﾋﾟﾈﾄﾗﾑ-L及び2代謝物の和)	各化合物の残留量 (ppm)【ｽﾋﾟﾈﾄﾗﾑ-J/ｽﾋﾟﾈﾄﾗﾑ-L/代謝物B/代謝物D】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数			
もも (果実)	8	250 g/kg顆粒水和剤	総使用量 396 g ai/ha	4	*7*	圃場A：0.06	圃場A：0.08	圃場A：0.05/<0.01/<0.01/0.01(#) 注2)
			総使用量 398 g ai/ha			圃場B：0.07	圃場B：0.10	圃場B：0.06/0.01/<0.01/0.02(#)
			総使用量 393 g ai/ha		*0, 3, 7, 10*, 14	圃場C：0.04	圃場C：0.06	圃場C：0.03/<0.01/<0.01/<0.01
			総使用量 395 g ai/ha			圃場D：0.06	圃場D：0.06	圃場D：0.03/<0.01/<0.01/0.01
			総使用量 *247* g ai/ha		*0, 7*, 14, 21, 28, 35	圃場E：<0.02	圃場E：<0.04	圃場E：<0.01/<0.01/<0.01/<0.01(#)
			総使用量 370 g ai/ha			圃場F：<0.02	圃場F：<0.04	圃場F：<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
			総使用量 *360* g ai/ha		*0, 7*, 15, 22, 28, 35	圃場G：<0.02	圃場G：<0.04	圃場G：<0.01/<0.01/<0.01/<0.01(4回, 15日)(#)
			総使用量 540 g ai/ha			圃場H：0.02	圃場H：0.04	圃場H：0.01/<0.01/<0.01/<0.01(4回, 15日)(#)
	8	*120 g/Lフロアブル*	総使用量 183 g ai/ha	4	*0, 1, 3, 7*, 14, 21, 28	圃場A：<0.02	圃場A：<0.03	圃場A：<0.01/<0.01/-/<0.01(#)
			総使用量 270 g ai/ha			圃場B：<0.02	圃場B：<0.03	圃場B：<0.01/<0.01/-/<0.01(#)
			総使用量 365 g ai/ha			圃場C：<0.02	圃場C：0.03	圃場C：<0.01/<0.01/-/0.01(#)
			総使用量 548 g ai/ha			圃場D：0.03	圃場D：0.05	圃場D：0.02/<0.01/-/0.02(#)
			総使用量 199 g ai/ha			圃場E：0.03	圃場E：0.04	圃場E：0.02/<0.01/-/<0.01(#)
			総使用量 293 g ai/ha			圃場F：0.02	圃場F：0.03	圃場F：0.01/<0.01/-/0.01(#)
			総使用量 398 g ai/ha			圃場G：0.03	圃場G：0.05	圃場G：0.02/<0.01/-/0.02(#)
			総使用量 596 g ai/ha			圃場H：0.04	圃場H：0.06	圃場H：0.03/<0.01/-/0.02(#)
もも (果肉)	4	250 g/kg顆粒水和剤	総使用量 396 g ai/ha	4	*7*	圃場A：0.06	圃場A：0.09	圃場A：0.05/<0.01/<0.01/0.02(#)
			総使用量 398 g ai/ha			圃場B：0.08	圃場B：0.11	圃場B：0.07/0.01/<0.01/0.02(#)
			総使用量 393 g ai/ha		*0, 3, 7, 10*, 14	圃場C：0.04	圃場C：0.06	圃場C：0.03/<0.01/<0.01/<0.01
			総使用量 395 g ai/ha			圃場D：0.06	圃場D：0.06	圃場D：0.03/<0.01/<0.01/0.01
ネクタリン	2	250 g/kg顆粒水和剤	総使用量 370 g ai/ha	4	0, 7, 14, 21, 28, 35	圃場A：0.03	圃場A：0.05	圃場A：0.02/<0.01/<0.01/<0.01(4回, 0日)(#)
			総使用量 *247* g ai/ha			圃場B：0.02	圃場B：0.04	圃場B：0.01/<0.01/<0.01/<0.01(4回, 0日)(#)
	8	120 g/Lフロアブル	総使用量 128 g ai/ha	4	*0*, 1, 3, 7, 14	圃場A：0.06	圃場A：0.08	圃場A：0.05/0.01/-/0.02(#)
			総使用量 189 g ai/ha			圃場B：0.06	圃場B：0.08	圃場B：0.05/0.01/-/0.02(#)
			総使用量 256 g ai/ha			圃場C：0.11	圃場C：0.15	圃場C：0.09/0.02/-/0.04(#)
			総使用量 385 g ai/ha			圃場D：0.26	圃場D：0.32	圃場D：0.21/0.05/-/0.06(#)
			総使用量 149 g ai/ha			圃場E：0.05	圃場E：0.06	圃場E：0.04/0.01/-/0.01(#)
			総使用量 220 g ai/ha			圃場F：0.16	圃場F：0.2	圃場F：0.12/0.04/-/0.04(#)
			総使用量 298 g ai/ha			圃場G：0.1	圃場G：0.12	圃場G：0.08/0.02/-/0.02(#)
			総使用量 448 g ai/ha			圃場H：0.27	圃場H：0.32	圃場H：0.21/0.06/-/0.05(#)
あんず	2	250 g/kg顆粒水和剤	総使用量 *204* g ai/ha	4	0, 7, 14, 21, 28, 35	圃場A：<0.02	圃場A：<0.04	圃場A：<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
			総使用量 *306* g ai/ha			圃場B：<0.02	圃場B：<0.04	圃場B：<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
すもも (果実)	6	250 g/kg顆粒水和剤	総使用量 407 g ai/ha	4	7	圃場A：0.02	圃場A：0.04	圃場A：0.01/<0.01/<0.01/<0.01
			総使用量 393 g ai/ha		7	圃場B：<0.02	圃場B：<0.04	圃場B：<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
			総使用量 398 g ai/ha		*0, 3*, 7, 10, 14	圃場C：0.03	圃場C：0.05	圃場C：0.02/<0.01/<0.01/<0.01
			総使用量 404 g ai/ha		*0, 3*, 7, 10, 14	圃場D：0.02	圃場D：0.04	圃場D：0.01/<0.01/<0.01/<0.01
			総使用量 398 g ai/ha		7	圃場E：<0.02	圃場E：<0.04	圃場E：<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
			総使用量 403 g ai/ha		*0, 3*, 7, 10, 14	圃場F：<0.02	圃場F：<0.04	圃場F：<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
すもも (果肉)	6	250 g/kg顆粒水和剤	総使用量 407 g ai/ha	4	7	圃場A：0.02	圃場A：0.04	圃場A：0.01/<0.01/<0.01/<0.01
			総使用量 393 g ai/ha		7	圃場B：<0.02	圃場B：<0.04	圃場B：<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
			総使用量 398 g ai/ha		*0, 3*, 7, 10, 14	圃場C：0.03	圃場C：0.05	圃場C：0.02/<0.01/<0.01/<0.01
			総使用量 404 g ai/ha		*0, 3*, 7, 10, 14	圃場D：0.02	圃場D：0.04	圃場D：0.01/<0.01/<0.01/<0.01
			総使用量 398 g ai/ha		7	圃場E：<0.02	圃場E：<0.04	圃場E：<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
			総使用量 403 g ai/ha		*0, 3*, 7, 10, 14	圃場F：<0.02	圃場F：<0.04	圃場F：<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
おうとう	4	250 g/kg顆粒水和剤	総使用量 *271* g ai/ha	4	0, 7, 14, 21, 28	圃場A：<0.02	圃場A：<0.04	圃場A：<0.01/<0.01/<0.01/<0.01(#)
			総使用量 431 g ai/ha			圃場B：0.03	圃場B：0.05	圃場B：0.02/<0.01/<0.01/<0.01
			総使用量 *330* g ai/ha		7, 14, 21, 28, 35	圃場C：<0.02	圃場C：<0.04	圃場C：<0.01/<0.01/<0.01/<0.01(#)
			総使用量 495 g ai/ha			圃場D：0.02	圃場D：0.04	圃場D：0.01/<0.01/<0.01/<0.01
	12	120 g/Lフロアブル	総使用量 157 g ai/ha	4	*0, 1, 3*, 7, 14	圃場A：<0.02	圃場A：<0.03	圃場A：<0.01/<0.01/-/<0.01
			総使用量 231 g ai/ha		*0, 1, 3*, 7, 14, 21	圃場B：<0.02	圃場B：0.03	圃場B：<0.01/<0.01/-/0.01
			総使用量 313 g ai/ha			圃場C：0.03	圃場C：0.06	圃場C：0.02/<0.01/-/0.03
			総使用量 470 g ai/ha			圃場D：0.05	圃場D：0.08	圃場D：0.04/<0.01/-/0.03
			総使用量 156 g ai/ha			圃場E：0.03	圃場E：0.05	圃場E：0.02/<0.01/-/0.02
			総使用量 230 g ai/ha		*0, 1, 3*, 7, 14, 21, 28	圃場F：0.03	圃場F：0.05	圃場F：0.02/<0.01/-/0.02
			総使用量 312 g ai/ha			圃場G：0.06	圃場G：0.1	圃場G：0.05/0.01/-/0.04
			総使用量 467 g ai/ha			圃場H：0.07	圃場H：0.11	圃場H：0.06/0.01/-/0.04
			総使用量 187 g ai/ha			圃場I：0.03	圃場I：0.04	圃場I：0.02/<0.01/-/0.01
			総使用量 276 g ai/ha			圃場J：0.03	圃場J：0.06	圃場J：0.02/<0.01/-/0.03
			総使用量 373 g ai/ha			圃場K：0.03	圃場K：0.05	圃場K：0.02/<0.01/-/0.02
			総使用量 560 g ai/ha			圃場L：0.06	圃場L：0.08	圃場L：0.05/0.01/-/0.02

注1）「最大残留量」欄に記載した残留値は、スピネトラム-J及びスピネトラム-Lの和、並びにスピネトラム-J、スピネトラム-L及び2代謝物の和。各化合物の残留量については、「各化合物の残留量」の欄に示した。
　最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留量。（参考：平成１０年８月７日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に係る意見具申」）
　表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付している。

注2）(#)：これらの作物残留試験は、申請の適用範囲内で試験が行われていない。なお、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

農薬名　　　スピネトラム

(別紙2)

食品名	基準値案 ppm	基準値現行 ppm	登録有無	参考基準値			作物残留試験成績等 ppm
				国際基準 ppm	外国基準値 ppm		
米(玄米をいう。)	0.1	0.1	○				<0.02(n=4)
大豆	0.1	0.1	○				<0.02,<0.02
小豆類	0.1	0.1	○	0.05			<0.02,<0.02(いんげんまめ)
えんどう	0.1	0.1	○	0.05			(だいず、いんげんまめ参照)
そら豆	0.1	0.1	○				(だいず、いんげんまめ参照)
その他の豆類	0.1	0.1	○	0.05			(だいず、いんげんまめ参照)
ばれいしょ	0.1	0.1			0.10	米国	【<0.005(n=14)(米国スピノサド)】
かんしょ	0.1	0.1	○				<0.02,<0.02
てんさい	0.1	0.1		0.01	0.10	米国	【米国ばれいしょ参照】
だいこん類(ラディッシュを含む。)の根	0.1	0.1	○				<0.02,<0.02
だいこん類(ラディッシュを含む。)の葉	10	10	○				2.95,3.40
かぶ類の根	0.2	0.2	○				0.03,0.03
かぶ類の葉	3	3	○				1.34,1.38
クレソン	8	8			8.0	米国	【米国セロリ参照】
はくさい	1	1	○				<0.02,0.36($)
キャベツ	2	2	○	0.3	2.0	米国	【0.006-0.459(n=8)(米国スピノサド)】
芽キャベツ	2	2		0.3	2.0	米国	【米国キャベツ参照】
ケール	5	5	○				(こまつな,きょうな参照)
こまつな	10	10	○		10	米国	1.39,2.46 【米国からしな参照】
きょうな	10	10	○		10	米国	0.93,2.58 【米国からしな参照】
チンゲンサイ	10	10	○		10	米国	【米国からしな参照】
カリフラワー	2	2	○	0.3	2.0	米国	【米国ブロッコリー参照】
ブロッコリー	2	2	○	0.3	2.0	米国	【0.196-0.76(n=8)(米国スピノサド)】
その他のあぶらな科野菜	10	10	○	0.3	10	米国	【0.055-7.707(n=8)(からしな)(米国スピノサド)】
エンダイブ	8	8			8.0	米国	【米国セロリ参照】
しゅんぎく	8	8			8.0	米国	【米国セロリ参照】
レタス(サラダ菜及びちしゃを含む。)	10	10	○	10			2.47,4.30(サラダ菜)
その他のきく科野菜	8	8					【米国セロリ参照】
たまねぎ	0.1	0.1	○	0.01			<0.02,<0.02
ねぎ(リーキを含む。)	2	2	○	0.8	2.0	米国	【0.09,0.16,1.15(米国スピノサド)】
にら	2	2	○				0.36,0.70
アスパラガス	0.3	0.3	○				0.03,0.06($)
その他のゆり科野菜	0.8	0.8	○	0.8			
パセリ	8	8			8.0	米国	【米国セロリ参照】
セロリ	8	8		6	8.0	米国	【0.37-1.84(n=6)(米国スピノサド)】
その他のせり科野菜	8	8					【米国セロリ参照】
トマト	0.7	0.7	○	0.06			0.08,0.27($)(ミニトマト)
ピーマン	0.7	0.7	○				0.12,0.30
なす	0.2	0.2	○				0.05,0.05
きゅうり(ガーキンを含む。)	0.3	0.3	○		0.3	米国	0.05,0.07 【0.009-0.07(#)(n=6)(米国スピノサド)】
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	0.3	0.3	○	0.01	0.3	米国	【米国きゅうり参照】
しろうり	0.3	0.3			0.3	米国	【米国きゅうり参照】
メロン類果実	0.1	0.1	○				<0.02,<0.02
その他のうり科野菜	0.3	0.3			0.3	米国	【米国きゅうり参照】
ほうれんそう	10	10	○	8			3.92,4.82
未成熟えんどう	2	2	○				0.18,0.64($)
未成熟いんげん	1	1	○	0.05			0.15,0.32($)
えだまめ	0.5	0.5	○				0.10,0.13
その他の野菜	8	8		0.05			【米国セロリ参照】
みかん	0.1	0.1	○				<0.02,<0.02
なつみかんの果実全体	0.3	0.3	○				0.04,0.10
レモン	0.7	0.7	○				(かぼす、すだち参照)
オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)	0.7	0.7	○	0.07			(かぼす、すだち参照)
グレープフルーツ	0.7	0.7	○				(かぼす、すだち参照)
ライム	0.7	0.7	○				(かぼす、すだち参照)

農薬名　　　スピネトラム

食品名	基準値案 ppm	基準値現行 ppm	登録有無	参考基準値 国際基準 ppm	参考基準値 外国基準値 ppm		作物残留試験成績等 ppm
その他のかんきつ類果実	0.7	0.7	○	0.07			0.22(すだち),0.23(かぼす)
りんご	0.5	0.5	○	0.05			0.09,0.14 【<0.02-0.02(n=10)(米国)】
日本なし	0.5	0.5	○	0.05			0.09,0.12
西洋なし	0.5	0.5	○	0.05			（日本なし参照）
マルメロ	0.2	0.2		0.05	0.2	米国	【米国りんご参照】
もも	0.1	0.1	○				<0.02,<0.02
ネクタリン	0.5	0.5	○	0.3			0.12,0.12
あんず（アプリコットを含む。）	0.2	0.2			0.2	米国 スピノサド	【米国すもも参照】
すもも（プルーンを含む。）	0.2	0.2	○		0.2	米国 スピノサド	<0.02,0.05 【<0.005-0.012(n=4)(米国スピノサド)】
うめ	0.7		申				0.22,0.23
おうとう（チェリーを含む。）	0.5	0.5	○				0.07,0.15
いちご	2	2	○				0.14,0.58($)
ラズベリー	0.8	0.8		0.8			
ブラックベリー	0.7	0.7					【<0.001,0.578(ラズベリー)(米国スピノサド)】
ブルーベリー	0.5	0.5	○	0.2			0.03,0.17($)
クランベリー	0.01	0.01			0.01	米国 スピノサド	【<0.01(n=6)(米国スピノサド)】
ハックルベリー	0.2	0.2		0.2			
その他のベリー類果実	0.7	0.7	○				【米国ラズベリー参照】
ぶどう	0.5	0.5	○	0.3			0.14,0.20
かき	0.3	0.3	○				0.05,0.07
バナナ	0.3	0.3			0.25	米国	【<0.0224-0.199(n=5)(米国スピノサド)】
パパイヤ	0.3	0.3			0.3	米国	【米国かんきつ類、りんご、核果類参照】
アボカド	0.3	0.3			0.3	米国	【米国かんきつ類、りんご、核果類参照】
パイナップル	0.02	0.02			0.02	米国 スピノサド	【<0.040(#)(n=3)(米国スピノサド)】
グアバ	0.3	0.3			0.3	米国	【米国かんきつ類、りんご、核果類参照】
マンゴー	0.3	0.3	○		0.3	米国	0.03,0.09
パッションフルーツ	0.3	0.3					【米国かんきつ類、りんご、核果類参照】
その他の果実	0.5	0.5	○				0.10,0.14(いちじく)
ぎんなん	0.01	0.01		0.01			
くり	0.1	0.1	○	0.01	0.1	米国	【米国アーモンド参照】
ペカン	0.1	0.1		0.01	0.1	米国	【米国アーモンド参照】
アーモンド	0.1	0.1		0.01	0.1	米国	【<0.04-0.0667(n=5)(米国)スピノサド】
くるみ	0.1	0.1		0.01	0.1	米国	【米国アーモンド参照】
その他のナッツ類	0.1	0.1		0.01	0.1	米国	【米国アーモンド参照】
茶	70	40	○				6.08-40.4(n=8)
その他のスパイス	3	3	○				0.58,1.02($)(みかん果皮)
その他のハーブ	8	8					【米国セロリ参照】
牛の筋肉	0.2	0.01		0.2			
豚の筋肉	0.2	0.01		0.2			
その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉	0.2	0.01		0.2			
牛の脂肪	0.2	0.2		0.2			
豚の脂肪	0.2	0.2		0.2			
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.2	0.2		0.2			
牛の肝臓	0.01	0.01		0.01			
豚の肝臓	0.01	0.01		0.01			
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	0.01	0.01		0.01			
牛の腎臓	0.01	0.01		0.01			
豚の腎臓	0.01	0.01		0.01			
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	0.01	0.01		0.01			
牛の食用部分	0.01	0.01		0.01			
豚の食用部分	0.01	0.01		0.01			

農薬名　　スピネトラム

（別紙2）

食品名	基準値案 ppm	基準値現行 ppm	登録有無	参考基準値 国際基準 ppm	参考基準値 外国基準値 ppm	作物残留試験成績等 ppm
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	0.01	0.01		0.01		
乳	0.01	0.01		0.01		
鶏の筋肉	0.01	0.01		0.01		
その他の家きんの筋肉	0.01	0.01		0.01		
鶏の脂肪	0.01	0.01		0.01		
その他の家きんの脂肪	0.01	0.01		0.01		
鶏の肝臓	0.01	0.01		0.01		
その他の家きんの肝臓	0.01	0.01		0.01		
鶏の腎臓	0.01	0.01		0.01		
その他の家きんの腎臓	0.01	0.01		0.01		
鶏の食用部分	0.01	0.01		0.01		
その他の家きんの食用部分	0.01	0.01		0.01		
鶏の卵	0.01	0.01		0.01		
その他の家きんの卵	0.01	0.01		0.01		

申請（国内における登録、承認等の申請、ｲﾝﾎﾟｰﾄﾄﾚﾗﾝｽ申請）以外の理由により本基準（暫定基準以外の基準）を見直す基準値案については、太枠線で囲んで示した。
「登録有無」の欄に「申」の記載があるものは、国内で農薬の登録申請等の基準値設定依頼がなされたものであることを示している。
(#)これらの作物残留試験は、申請の範囲内で試験が行われていない。
($)これらの作物残留試験は、試験成績のばらつきを考慮し、この印をつけた残留値を基準値策定の根拠とした。

スピネトラム推定摂取量　（単位：μg／人／day）

食品名	基準値案(ppm)	暴露評価に用いた数値(ppm)	一般(1歳以上) TMDI	一般(1歳以上) EDI	幼小児(1～6歳) TMDI	幼小児(1～6歳) EDI	妊婦 TMDI	妊婦 EDI	高齢者(65歳以上) TMDI	高齢者(65歳以上) EDI
米（玄米をいう。）	0.1	0.02	16.4	3.3	8.6	1.7	10.5	2.1	18.0	3.6
大豆	0.1	0.02	3.9	0.8	2.0	0.4	3.1	0.6	4.6	0.9
小豆類	0.1	0.02	0.2	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.4	0.1
えんどう	0.1	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
そら豆	0.1	0.02	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
その他の豆類	0.1	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ばれいしょ	0.1	0.005	3.8	0.2	3.4	0.2	4.2	0.2	3.5	0.2
かんしょ	0.1	0.02	0.7	0.1	0.6	0.1	1.2	0.2	1.0	0.2
てんさい	0.1	0.005	3.3	0.2	2.8	0.1	4.1	0.2	3.3	0.2
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	0.1	0.02	3.3	0.7	1.1	0.2	2.1	0.4	4.6	0.9
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	10	3.175	17.0	5.4	6.0	1.9	31.0	9.8	28.0	8.9
かぶ類の根	0.2	0.03	0.6	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	1.0	0.2
かぶ類の葉	3	1.36	0.9	0.4	0.3	0.1	0.3	0.1	1.8	0.8
クレソン	8	0.95	0.8	0.1	0.8	0.1	0.8	0.1	0.8	0.1
はくさい	1	0.19	17.7	3.4	5.1	1.0	16.6	3.2	21.6	4.1
キャベツ	2	0.102	48.2	2.5	23.2	1.2	38.0	1.9	47.6	2.4
芽キャベツ	2	0.102	0.2	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0
ケール	5	1.84	1.0	0.4	0.5	0.2	0.5	0.2	1.0	0.4
こまつな	10	4.487	50.0	22.4	18.0	8.1	64.0	28.7	64.0	28.7
きょうな	10	4.487	22.0	9.9	4.0	1.8	14.0	6.3	27.0	12.1
チンゲンサイ	10	4.487	18.0	8.1	7.0	3.1	18.0	8.1	19.0	8.5
カリフラワー	2	0.467	1.0	0.2	0.4	0.1	0.2	0.0	1.0	0.2
ブロッコリー	2	0.76	10.4	4.0	6.6	2.5	11.0	4.2	11.4	4.3
その他のあぶらな科野菜	10	4.487	34.0	15.3	6.0	2.7	8.0	3.6	48.0	21.5
エンダイブ	8	0.95	0.8	0.1	0.8	0.1	0.8	0.1	0.8	0.1
しゅんぎく	8	0.95	12.0	1.4	2.4	0.3	20.8	2.5	20.0	2.4
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	10	3.385	96.0	32.5	44.0	14.9	114.0	38.6	92.0	31.1
その他のきく科野菜	8	0.95	12.0	1.4	0.8	0.1	4.8	0.6	20.8	2.5
たまねぎ	0.1	0.02	3.1	0.6	2.3	0.5	3.5	0.7	2.8	0.6
ねぎ（リーキを含む。）	2	0.467	18.8	4.4	7.4	1.7	13.6	3.2	21.4	5.0
にら	2	0.53	4.0	1.1	1.8	0.5	3.6	1.0	4.2	1.1
アスパラガス	0.3	0.045	0.5	0.1	0.2	0.0	0.3	0.0	0.8	0.1
その他のゆり科野菜	0.8	0.33	0.5	0.2	0.1	0.0	0.2	0.1	1.0	0.4
パセリ	8	0.95	0.8	0.1	0.8	0.1	0.8	0.1	1.6	0.2
セロリ	8	0.95	9.6	1.1	4.8	0.6	2.4	0.3	9.6	1.1
その他のせり科野菜	8	0.95	1.6	0.2	0.8	0.1	2.4	0.3	2.4	0.3
トマト	0.7	0.175	22.5	5.6	13.3	3.3	22.4	5.6	25.6	6.4
ピーマン	0.7	0.21	3.4	1.0	1.5	0.5	5.3	1.6	3.4	1.0
なす	0.2	0.05	2.4	0.6	0.4	0.1	2.0	0.5	3.4	0.9
きゅうり（ガーキンを含む。）	0.3	0.06	6.2	1.2	2.9	0.6	4.3	0.9	7.7	1.5
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	0.3	0.047	2.8	0.4	1.1	0.2	2.4	0.4	3.9	0.6
しろうり	0.3	0.047	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0
メロン類果実	0.1	0.02	0.4	0.1	0.3	0.1	0.4	0.1	0.4	0.1
その他のうり科野菜	0.3	0.047	0.8	0.1	0.4	0.1	0.2	0.0	1.0	0.2
ほうれんそう	10	4.37	128.0	55.9	59.0	25.8	142.0	62.1	174.0	76.0
未成熟えんどう	2	0.41	3.2	0.7	1.0	0.2	0.4	0.1	4.8	1.0
未成熟いんげん	1	0.235	2.4	0.6	1.1	0.3	0.1	0.0	3.2	0.8
えだまめ	0.5	0.115	0.9	0.2	0.5	0.1	0.3	0.1	1.4	0.3
その他の野菜	8	0.95	107.2	12.7	50.4	6.0	80.8	9.6	112.8	13.4
みかん	0.1	0.02	1.8	0.4	1.6	0.3	0.1	0.0	2.6	0.5
なつみかんの果実全体	0.3	0.07	0.4	0.1	0.2	0.0	1.4	0.3	0.6	0.1
レモン	0.7	0.225	0.4	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.4	0.1
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	0.7	0.225	4.9	1.6	10.2	3.3	8.8	2.8	2.9	0.9
グレープフルーツ	0.7	0.225	2.9	0.9	1.6	0.5	6.2	2.0	2.5	0.8
ライム	0.7	0.225	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
その他のかんきつ類果実	0.7	0.225	4.1	1.3	1.9	0.6	1.8	0.6	6.7	2.1
りんご	0.5	0.02	12.1	0.5	15.5	0.6	9.4	0.4	16.2	0.6
日本なし	0.5	0.105	3.2	0.7	1.7	0.4	4.6	1.0	3.9	0.8
西洋なし	0.5	0.105	0.3	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.3	0.1
マルメロ	0.2	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
もも	0.1	0.02	0.3	0.1	0.4	0.1	0.5	0.1	0.4	0.1
ネクタリン	0.5	0.12	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
あんず（アプリコットを含む。）	0.2	0.008	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
すもも（プルーンを含む。）	0.2	0.035	0.2	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.2	0.0
うめ	0.7	0.225	1.0	0.3	0.2	0.1	0.4	0.1	1.3	0.4
おうとう（チェリーを含む。）	0.5	0.11	0.2	0.0	0.4	0.1	0.1	0.0	0.2	0.0
いちご	2	0.36	10.8	1.9	15.6	2.8	10.4	1.9	11.8	2.1
ラズベリー	0.8	● 0.8	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
ブラックベリー	0.7	0.394	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
ブルーベリー	0.5	0.1	0.6	0.1	0.4	0.1	0.3	0.1	0.7	0.1
クランベリー	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ハックルベリー	0.2	0.12	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のベリー類果実	0.7	0.544	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
ぶどう	0.5	0.17	4.4	1.5	4.1	1.4	10.1	3.4	4.5	1.5
かき	0.3	0.06	3.0	0.6	0.5	0.1	1.2	0.2	5.5	1.1
バナナ	0.3	0.094	4.0	1.2	4.6	1.4	4.9	1.5	5.7	1.8
パパイヤ	0.3	0.066	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
アボカド	0.3	0.066	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
パイナップル	0.02	0.04	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1
グアバ	0.3	0.066	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
マンゴー	0.3	0.066	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0

（別紙３）

スピネトラム推定摂取量　（単位：μg／人／day)

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に用いた数値 (ppm)	一般 (1歳以上) TMDI	一般 (1歳以上) EDI	幼小児 (1～6歳) TMDI	幼小児 (1～6歳) EDI	妊婦 TMDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) TMDI	高齢者 (65歳以上) EDI
パッションフルーツ	0.3	0.066	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の果実	0.5	0.12	0.6	0.1	0.2	0.0	0.5	0.1	0.9	0.2
ぎんなん	0.01	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
くり	0.1	0.053	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
ペカン	0.1	0.053	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
アーモンド	0.1	0.053	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
くるみ	0.1	0.053	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のナッツ類	0.1	0.053	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
茶	70	22.3	462.0	147.2	70.0	22.3	259.0	82.5	658.0	209.6
その他のスパイス	3	0.8	0.3	0.1	0.3	0.1	0.3	0.1	0.6	0.2
その他のハーブ	8	0.95	7.2	0.9	2.4	0.3	0.8	0.1	11.2	1.3
陸棲哺乳類の肉類	0.2	筋肉　0.01 脂肪　0.05	11.5	1.0	8.6	0.8	12.9	1.2	8.2	0.7
陸棲哺乳類の食用部分（肉類除く）	0.01	●　0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
陸棲哺乳類の乳類	0.01	●　0.01	2.6	2.6	3.3	3.3	3.6	3.6	2.2	2.2
家きんの肉類	0.01	●　0.01	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
家きんの卵類	0.01	●　0.01	0.4	0.4	0.3	0.3	0.5	0.5	0.4	0.4
計			1233.6	364.2	440.2	121.1	994.7	301.6	1575.8	474.1
ADI比（%）			93.3	27.5	111.2	30.6	70.8	21.5	117.0	35.2

TMDI：理論最大1日摂取量（Theoretical Maximum Daily Intake）
TMDI試験法：基準値案×各食品の平均摂取量
EDI：推定1日摂取量（Estimated Daily Intake）
EDI試験法：作物残留試験成績の平均値×各食品の平均摂取量
●：個別の作物残留試験がないことから、暴露評価を行うにあたり基準値（案）の数値を用いた。
その他のうり科野菜、ラズベリー、及びクランベリーについては、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてEDI試算をした。
「陸棲哺乳類の肉類」については、TMDI計算では、牛・豚・その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉、脂肪の摂取量にその範囲の基準値案で最も高い値を乗じた。また、EDI計算では、畜産物中の平均的な残留農薬濃度を用い、摂取量の筋肉及び脂肪の比率をそれぞれ80%、20%として試算した。

（参考）

これまでの経緯

平成２０年　２月２６日　インポートトレランス申請（グレープフルーツ、レモン等）
平成２０年　３月　３日　厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成２１年　１月１５日　食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成２１年　６月１８日　農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準設定依頼（新規：水稲、りんご、なし等）
平成２１年　８月　４日　厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成２２年　２月２５日　食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成２３年　２月１６日　残留農薬基準告示
平成２３年　３月２９日　初回農薬登録

平成２３年１０月１９日　農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準設定依頼（適用拡大：だいこん、はくさい等）
平成２３年１１月１６日　インポートトレランス申請（大豆、ばれいしょ等）
平成２４年　１月１９日　厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成２４年　６月２２日　食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成２５年１０月２２日　残留農薬基準告示

平成２５年　６月　５日　農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準設定依頼（適用拡大：大豆、かんしょ等）
平成２５年　８月１９日　厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成２５年１１月１１日　食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成２６年１０月　３日　残留農薬基準告示

平成２７年１２月１６日　農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準設定依頼（適用拡大：うめ）
平成２８年　５月１０日　厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請

平成２８年１１月２２日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成２９年　５月　８日	薬事・食品衛生審議会へ諮問
平成２９年　５月１７日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

● 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

［委員］

○穐山　浩	国立医薬品食品衛生研究所食品部長
石井　里枝	埼玉県衛生研究所化学検査室長
井之上　浩一	立命館大学薬学部薬学科臨床分析化学研究室准教授
折戸　謙介	麻布大学獣医生理学教授
魏　民	大阪市立大学大学院医学研究科分子病理学准教授
佐々木　一昭	東京農工大学大学院農学研究院動物生命科学部門准教授
佐藤　清	元　一般財団法人残留農薬研究所理事
佐野　元彦	東京海洋大学海洋生物資源学部門教授
永山　敏廣	明治薬科大学薬学部薬学教育研究センター基礎薬学部門教授
根本　了	国立医薬品食品衛生研究所食品部第一室長
二村　睦子	日本生活協同組合連合会組織推進本部組合員活動部部長
宮井　俊一	一般社団法人日本植物防疫協会技術顧問
由田　克士	大阪市立大学大学院生活科学研究科公衆栄養学教授
吉成　浩一	静岡県立大学薬学部衛生分子毒性学分野教授

（○：部会長）

答申（案）

スピネトラム

食品名	残留基準値 ppm
米（玄米をいう。）	0.1
大豆	0.1
小豆類[注1)]	0.1
えんどう	0.1
そら豆	0.1
その他の豆類[注2)]	0.1
ばれいしょ	0.1
かんしょ	0.1
てんさい	0.1
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	0.1
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	10
かぶ類の根	0.2
かぶ類の葉	3
クレソン	8
はくさい	1
キャベツ	2
芽キャベツ	2
ケール	5
こまつな	10
きょうな	10
チンゲンサイ	10
カリフラワー	2
ブロッコリー	2
その他のあぶらな科野菜[注3)]	10
エンダイブ	8
しゅんぎく	8
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	10
その他のきく科野菜[注4)]	8
たまねぎ	0.1
ねぎ（リーキを含む。）	2
にら	2
アスパラガス	0.3
その他のゆり科野菜[注5)]	0.8
パセリ	8
セロリ	8
その他のせり科野菜[注6)]	8
トマト	0.7
ピーマン	0.7
なす	0.2
きゅうり（ガーキンを含む。）	0.3
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	0.3
しろうり	0.3
メロン類果実	0.1
その他のうり科野菜[注7)]	0.3

注1）いんげん、ささげ、サルタニ豆、サルタピア豆、バター豆、ペギア豆、ホワイト豆、ライマ豆及びレンズを含む。

注2）「その他の豆類」とは、豆類のうち、大豆、小豆類、えんどう、そら豆、らっかせい及びスパイス以外のものをいう。

注3）「その他のあぶらな科野菜」とは、あぶらな科野菜のうち、だいこん類の根、だいこん類の葉、かぶ類の根、かぶ類の葉、西洋わさび、クレソン、はくさい、キャベツ、芽キャベツ、ケール、こまつな、きょうな、チンゲンサイ、カリフラワー、ブロッコリー及びハーブ以外のものをいう。

注4）「その他のきく科野菜」とは、きく科野菜のうち、ごぼう、サルシフィー、アーティチョーク、チコリ、エンダイブ、しゅんぎく、レタス及びハーブ以外のものをいう。

注5）「その他のゆり科野菜」とは、ゆり科野菜のうち、たまねぎ、ねぎ、にんにく、にら、アスパラガス、わけぎ及びハーブ以外のものをいう。

注6）「その他のせり科野菜」とは、せり科野菜のうち、にんじん、パースニップ、パセリ、セロリ、みつば、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

注7）「その他のうり科野菜」とは、うり科野菜のうち、きゅうり、かぼちゃ、しろうり、すいか、メロン類果実及びまくわうり以外のものをいう。

食品名	残留基準値 ppm
ほうれんそう	10
未成熟えんどう	2
未成熟いんげん	1
えだまめ	0.5
その他の野菜[注8)]	8
みかん	0.1
なつみかんの果実全体	0.3
レモン	0.7
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	0.7
グレープフルーツ	0.7
ライム	0.7
その他のかんきつ類果実[注9)]	0.7
りんご	0.5
日本なし	0.5
西洋なし	0.5
マルメロ	0.2
もも	0.1
ネクタリン	0.5
あんず（アプリコットを含む。）	0.2
すもも（プルーンを含む。）	0.2
うめ	0.7
おうとう（チェリーを含む。）	0.5
いちご	2
ラズベリー	0.8
ブラックベリー	0.7
ブルーベリー	0.5
クランベリー	0.01
ハックルベリー	0.2
その他のベリー類果実[注10)]	0.7
ぶどう	0.5
かき	0.3
バナナ	0.3
パパイヤ	0.3
アボカド	0.3
パイナップル	0.02
グアバ	0.3
マンゴー	0.3
パッションフルーツ	0.3
その他の果実[注11)]	0.5
ぎんなん	0.01
くり	0.1
ペカン	0.1
アーモンド	0.1
くるみ	0.1
その他のナッツ類[注12)]	0.1
茶	70

注8）「その他の野菜」とは、野菜のうち、いも類、てんさい、さとうきび、あぶらな科野菜、きく科野菜、ゆり科野菜、せり科野菜、なす科野菜、うり科野菜、ほうれんそう、たけのこ、オクラ、しょうが、未成熟えんどう、未成熟いんげん、えだまめ、きのこ類、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

注9）「その他のかんきつ類果実」とは、かんきつ類果実のうち、みかん、なつみかん、なつみかんの外果皮、なつみかんの果実全体、レモン、オレンジ、グレープフルーツ、ライム及びスパイス以外のものをいう。

注10）「その他のベリー類果実」とは、ベリー類果実のうち、いちご、ラズベリー、ブラックベリー、ブルーベリー、クランベリー及びハックルベリー以外のものをいう。

注11）「その他の果実」とは、果実のうち、かんきつ類果実、りんご、日本なし、西洋なし、マルメロ、びわ、もも、ネクタリン、あんず、すもも、うめ、おうとう、ベリー類果実、ぶどう、かき、バナナ、キウィー、パパイヤ、アボカド、パイナップル、グアバ、マンゴー、パッションフルーツ、なつめやし及びスパイス以外のものをいう。

注12）「その他のナッツ類」とは、ナッツ類のうち、ぎんなん、くり、ペカン、アーモンド及びくるみ以外のものをいう。

食品名	残留基準値 ppm
その他のスパイス[注13)]	3
その他のハーブ[注14)]	8
牛の筋肉	0.2
豚の筋肉	0.2
その他の陸棲哺乳類に属する動物[注15)]の筋肉	0.2
牛の脂肪	0.2
豚の脂肪	0.2
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.2
牛の肝臓	0.01
豚の肝臓	0.01
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	0.01
牛の腎臓	0.01
豚の腎臓	0.01
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	0.01
牛の食用部分[注16)]	0.01
豚の食用部分	0.01
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	0.01
乳	0.01
鶏の筋肉	0.01
その他の家きん[注17)]の筋肉	0.01
鶏の脂肪	0.01
その他の家きんの脂肪	0.01
鶏の肝臓	0.01
その他の家きんの肝臓	0.01
鶏の腎臓	0.01
その他の家きんの腎臓	0.01
鶏の食用部分	0.01
その他の家きんの食用部分	0.01
鶏の卵	0.01
その他の家きんの卵	0.01

注13)「その他のスパイス」とは、スパイスのうち、西洋わさび、わさびの根茎、にんにく、とうがらし、パプリカ、しょうが、レモンの果皮、オレンジの果皮、ゆずの果皮及びごまの種子以外のものをいう。

注14)「その他のハーブ」とは、ハーブのうち、クレソン、にら、パセリの茎、パセリの葉、セロリの茎及びセロリの葉以外のものをいう。

注15)「その他の陸棲哺乳類に属する動物」とは、陸棲哺乳類に属する動物のうち、牛及び豚以外のものをいう。

注16)「食用部分」とは、食用に供される部分のうち、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓以外の部分をいう。

注17)「その他の家きん」とは、家きんのうち、鶏以外のものをいう。